

第 11 次横浜市消費生活審議会

第 2 回施策検討部会

議事次第

平成 29 年 7 月 7 日(金) 午前 10 時から
松村ビル別館 501 会議室

1 開 会

2 議 題

- (1) 会議録確認者の選出について
- (2) 「ACAP 消費者志向活動表彰」制度について
- (3) 神奈川県と横浜市の事業者指導について
- (4) 経済局関連団体の広報媒体について
- (5) その他

3 閉 会

【配布資料】

- | | |
|------|--|
| 資料 1 | 第 11 次横浜市消費生活審議会施策検討部会委員名簿 |
| 資料 2 | 「ACAP 消費者志向活動表彰」制度について |
| 資料 3 | 神奈川県と横浜市の事業者指導について |
| 資料 4 | 経済局関係団体の広報媒体について |
| 参 考 | (1) 市工連ニュース (2017 年 5 月 15 日 第 378 号) |
| | (2) 市工連かわらばん (2016 年 9 月 第 160 号) |
| | (3) よこはま市商連 (2017 年 5 月号 No. 179) |
| | (4) 横浜企業経営サポートマガジン (2017 年 6 月 9 日 Vol. 336) |
| | (5) 企業支援@ヨコハマ (号外 2016 年 6 月 20 日発行) |

第11次横浜市消費生活審議会施策検討部会委員名簿

平成29年6月19日現在

No	委員氏名	所 属
1 新	うめもと よしのぶ 梅本 佳伸	一般財団法人 家電製品協会 家電製品PLセンター センター長
2	えのもと ひでお 榎本 英雄	一般社団法人 横浜市工業会連合会 会長
3	さとう よしつぐ 佐藤 喜次	公益社団法人 消費者関連専門家会議 専務理事
4 新	しみず ふさよ 清水 房代	横浜市消費生活推進員 中区代表
5	すずき よしひと 鈴木 義仁	神奈川県弁護士会
6	たがや としこ 多賀谷 登志子	横浜市消費者団体連絡会 代表幹事
7	むら ちづこ 村 千鶴子	東京経済大学 現代法学部 教授・弁護士

敬称略：五十音順

「ACAP 消費者志向活動表彰」制度について

1. ACAP の概要

企業や団体の消費者関連部門の責任者・担当者で構成

- 設立 : 1980 年 (2012 年に公益社団法人に移行)
- 会員数 : 正会員 758 名、会員総数 881 名 会員企業 593 社 (2016 年度末)
- 活動内容 : 「消費者志向経営を推進し、消費者市民社会の実現をめざす消費者志向事業者団体 (ACAP 理念)」として、以下の活動を展開
 - 消費者に向けた活動 ○企業に向けた活動 ○消費者・行政・企業等のかけ橋としての活動 (別途配布の「活動のご案内」にて事業内容等ご説明いたします)

2. 消費者志向経営の推進

(1) 取組の柱 (「消費者志向経営の取組促進に関する検討会」(消費者庁)報告書より)

- 経営トップのコミットメント
- コーポレートガバナンスの確保
- 従業員の積極的活動(企業風土・従業員の意識醸成)
- 事業関連部門・品消費関連部門の有機的な連携
- 消費者への情報提供の充実・双方向の情報交換
- 消費者・社会の要望をふまえた改善・開発

(2) ACAP における「消費者志向経営の定義」

- 事業者が社会の一員としてその責任を十分に理解し、消費者の権利・利益を尊重し、消費者視点に基づいた事業活動を行うとともに、持続可能な社会に貢献する経営のあり方

※キーワード○消費者全体を見る ○トップマネジメントのもと全従業員 ○消費者視点 ○社会的責任 ○持続可能な社会
 ※「四方よし」(「売り手よし、買い手よし、世間よし&未来よし」理事長コメントより)

3. ACAP 消費者志向活動表彰制度の概要

ACAP が運営していた「ACAP 賞」（「消費者月間シンポジウム」にて公表）を母体とし、2015 年度に刷新

(1) 制度の内容

■ 企業や団体、個人が行う活動を表彰（後援：消費者庁 一般社団法人日本経済団体連合会）

■ 表彰対象 消費者志向経営を推進し支援する観点から称賛に値する活動

○ 消費者の自立を支援する活動 ○ 健全で安全・安心な消費生活の実現に向けた活動

○ 消費者と企業等の信頼関係の向上に向けた活動 ○ 消費者市民社会の形成に貢献する活動

※対象となる期間は、表彰を行う事業年度の 4 月 1 日を基準とした過去 5 年

※事業者以外の団体・個人の場合、「事業者と連携した活動であるか」「事業者に影響を与えた活動であるか」の観点で審査

(2) 候補活動の募集

■ 募集期間 7 月～9 月（自薦・他薦）～所定の推薦書で事務局あて提出

※推薦書の主な記入事項は以下のとおりで、参考となる新聞や雑誌記事、HP 等添付を依頼

・ 活動の目的 ・ 活動の具体的内容 ・ 独自の工夫 ・ 実績と成果 ・ 将来の方向性 等

(3) 審査および表彰

■ ACAP の総務委員会で一次選考実施後、「選考委員会」を開催

■ 選考委員（第 2 回・2016 年度）

選考委員長 ○ 松本恒雄氏（国民生活センター理事長）

選考委員 ○ 中村年春氏（大東文化大学経済学部教授）

○ 長田三紀氏（全国地域婦人団体連絡協議会事務局長）

○ 高山靖子氏（株式会社資生堂顧問） ○ 坂倉忠夫 ACAP 理事長

■ 表彰

○ 受草者は 5 名（企業等含む）以内とし、賞状ならびに記念品を授与

○ 「消費者志向経営トップセミナー（2 月開催）」（経団連・消費者庁共催）にて表彰式

(4) これまでの審査結果（活動の内容と評価ポイント）は、別添配布の資料をご参照）

■ 第1回（2015年度）応募15件

- 字幕付きテレビCMの放映（花王株式会社）
- 引越事業者優良認定制度（公益社団法人全日本トラック協会）
- 消費者教育教材を用いた消費者啓発（第一生命保険株式会社）
- ご高齢のお客さまへの対応（明治安田生命保険相互会社）

■ 第2回（2016年度）応募12件

- 多様な主体と連携した消費者教育の取組み（生活協同組合連合会大学生協関西西北陸事業連合）
- 防災ジャパンダプロジェクト（損害保険ジャパン日本興亜株式会社）
- 全国支社と消費生活センターとの交流活動（日本生命保険相互会社）
- 消費者志向経営の風土醸成からお客様接点強化の取組み（パナソニック株式会社）
- 視覚障がい者向け操作マニュアル～操作方法習得のための音声マニュアルの改善取組み～
（パナソニック株式会社アプライアンス社ホームエンターテインメント事業部）

(5) 課題等

■ 応募数の拡大（毎回15件前後で止まっている）

- 業種、中小企業、地方等への拡大～PRの必要性

■ 受賞事例を、いわゆる推奨活動としていかに広めていくか

- 現状はACAPの例会やシンポジウムでの紹介活動

■ 選考委員会のあり方

- 地方の企業や団体等に拡大した場合の活動内容の把握の方法
- 選考委員と事務局の負担～選考のための資料収集
～ヒヤリングの実施、プレゼン等の必要性
- 個人や団体の場合、事業者との連携や事業者へ影響の見極め

以上



企業・団体 (消費者対応窓口)の方へ	行政 (消費者窓口)の方へ	教育機関 (消費者教育・啓発)の方へ	一般消費者の皆様へ
-----------------------	------------------	-----------------------	-----------

トップページ > 消費者志向経営の推進 > 第1回ACAP消費者志向活動表彰「消費者志向活動章」審査結果 2015年度

消費者志向経営とは 理事長メッセージ ACAPの取り組み 消費者志向経営推進組織	消費者志向経営に向けて 消費者志向活動表彰 トップインタビュー	ACAPの支援ツール 消費者志向経営早わかり	その他 関連する各種イベント等の紹介 現在はありません
---	---	---	-----------------------------------

第1回ACAP消費者志向活動表彰「消費者志向活動章」審査結果 2015年度



第1回表彰式

受賞者・活動内容 (五十音順)

応募件数 15件

第1回ACAP消費者志向活動表彰「消費者志向活動章」詳細募集案内は[こちら](#)

活動名・企業団体名	活動内容	評価ポイント
字幕付きテレビCMの放映 花王株式会社	2011年から字幕付きテレビCMを一部導入するとともに、その本格的な普及に向けて取り組みを行っている。国内の難聴者は約2000万人と推定されており全人口の15%以上に相当する。今後高齢化が進むため、この割合は更に増大していく。この取り組みは、難聴者に対して正しく情報を提供するだけでなく、病院や電車の中など音が出せない環境でも有益である。そして、この活動が2014年10月の字幕付きCM普及推進協議会の設立にもつながった。	地道な活動を継続的に実施し消費者志向の企業姿勢がうかがえる。難聴者向けのみならず、高齢化社会に向けての先駆者としての取り組みであり、今後の展開と他企業への影響力に期待したい。
引越事業者優良認定制度 公益社団法人 全日本トラック協会	消費者と引越しサービスを提供する運送事業者との間の問題やトラブルへの対策として、2014年より自主的な認定制度である「引越事業者優良認定制度」を創設した。制度化にあたっては、2012年から行政、消費者関連団体、事業者団体等とも連携しながら検討を行ってきたもので、「安全・安心な事業者の見える化」、「引越業界全体のコンプライアンスの向上」、「引越における苦情やトラブルの防止」を目的としている。既に300以上の事業者が認定されている。	消費者行政と事業者団体の連携の取り組みであること、及び、業界として取り組むことにより中小規模の企業でも学びの機会が得られ、消費者志向経営の輪の拡大につながる。
消費者教育教材を用いた消費者啓発 第一生命保険 株式会社	人生におけるリスクとその備えについて、すごくろ形式で楽しみながら学習する消費者教育教材。2004年に作成した「ライフサイクルゲーム」の大幅改訂版として、2012年に「ライフサイクルゲームⅡ～生涯設計のススメ～」を開発し、教材の無償提供及び出張授業等、地道に消費者教育支援活動	この種の教育教材の先駆けとして教育・啓発に多く活用されているばかりでなく、次のステップを見すえさらに進化している点も評価できる。社員による出張授業も行い、社会貢献度も高い。

	<p>を展開した。2012年4月以降、提供した教材数は15,000セットで、高校を中心に小学校から大学、消費生活センター、民間企業など幅広く活用されている。</p>	
<p>ご高齢のお客さまへの対応 明治安田生命保険 相互会社</p>	<p>高齢のお客さまへの対応として、「MY長寿ご契約点検制度」、「MY安心ファミリー登録制度」、「お客さま自身で加入内容を確認する取組み」、「地域を見守る活動」の4つの活動に取り組んでいる。特に「MY長寿ご契約点検制度」では、当社から積極的にお客さまの状況を確認し、より確実な保険金支払いにつながっている。また、「地域を見守る活動」では、人命救助や詐欺被害未然防止につながった実例も出てきている。</p>	<p>高齢化社会だからこそ求められる消費者志向の活動を、生命保険会社ならではの手法で本業の中で仕組み化している。その仕組みと地域の見守り活動としての社会貢献活動を連動させて展開している点はとりわけ素晴らしい。</p>

”

企業・団体 (消費者対応窓口)の方へ	行政 (消費者窓口)の方へ	教育機関 (消費者教育・啓発)の方へ	一般消費者の皆様へ
-----------------------	------------------	-----------------------	-----------

トップページ > 消費者志向経営の推進 > 第2回ACAP消費者志向活動表彰「消費者志向活動章」審査結果 2016年度

消費者志向経営とは 理事長メッセージ ACAPの取り組み 消費者志向経営推進組織	消費者志向経営に向けて 消費者志向活動表彰 トップインタビュー	ACAPの支援ツール 消費者志向経営早わかり	その他 関連する各種イベント等の紹介 現在はありません
---	---	---	-----------------------------------

第2回ACAP消費者志向活動表彰「消費者志向活動章」審査結果 2016年度



第2回表彰式

受賞者・活動内容 (五十音順)

応募件数 12件

第2回ACAP消費者志向活動表彰「消費者志向活動章」詳細募集案内は[こちら](#)

活動名・企業団体名	活動内容	評価ポイント
多様な主体と連携した消費者教育の取り組み 生活協同組合連合会大学生協関西西北陸事業連合	大学生による、次世代の消費者リーダーとなる人材の養成、大学生を対象とする消費者教育活動。 2010年に兵庫県と「次世代の消費者教育・学習に関する協定」を締結、「くらしのヤングクリエイター」認定制度を創設。2014年に大学生と大学生協職員で構成する「消費者教育推進委員会」を設置し、行政、消費者団体、事業者との連携によるセミナーや学習会を企画立案し実施している。	消費者市民社会の実現を目標に据え、その核となる人材を育成し、継続的に運営できる仕組みにしている点が高く評価できる。 大学生の積極的な取り組みと共に、事業者と消費者の両面を併せ持った特徴を活かし、行政・事業者団体・事業者との連携を進めている点も素晴らしい。 今後、全国的に同様の取組みが展開されていくことを期待したい。
防災ジャパンダプロジェクト 損害保険ジャパン日本興亜株式会社	東日本大震災を契機にNPO法人と協働で立ち上げたオリジナルの防災プロジェクト。取引先企業や地域の自治体等と協働で取り組んでいる。損害保険事業と親和性の高い重要な「防災」をテーマとしたプログラムを全国で展開し、消費者教育の観点から地域社会に貢献。 将来の担う子どもたちおよびその保護者を対象に、防災について学び、体験する人形劇、ワークショップなど、2015年から2016年7月までに累計約40回開催。	本業である損害保険事業と関連した消費者向け活動であり、一部の活動ではなく全社的な取組みとして実施している。 また、地域の自治体やNPO法人、学校など多様な主体との連携により全国的に展開していること、体験型ワークショップであることが素晴らしく、今後の継続と更なる発展を期待したい。
全国支社と消費生活センターとの交流活動 日本生命保険相互会社	お客様サービス向上をめざし、全国支社の担当者が地域の消費生活センター・相談窓口と定期的に交流を図り、お客様の声の収集や情報交換に努めるという取組み。 ISO 10002 (品質マネジメント-顧客満足-組織における苦情対応のための指針) の適合宣言を行い、消費生活アドバイザー資格の取得を奨励して消費者視点を企業経営に反映できる人材	消費者の地域の窓口である消費生活センターとの交流は、消費者対応や消費者の声の活用面で非常に重要である。 その土台として、ISO 10002自己適合宣言や消費生活アドバイザーの育成など、企業全体の消費者志向の基盤や風土を築いていることを高く評価する。今後も、広範囲な取組みを期待したい。

	<p>の育成を目指すなど、全社的体制づくりを実施している。</p>	
<p>消費者志向経営の風土醸成からお客様接点強化の取組み パナソニック株式会社</p>	<p>「消費者志向経営」の各職場での醸成とCS向上に繋がるサポート機能拡充の活動。 「消費者月間」に社長メッセージの発信、シンポジウムの開催、ポスター制作など、消費者志向経営の風土醸成への経営陣による全社的取組みを10年間継続。 その一環として、商品別フリーダイヤルの全商品導入、つながりやすさの向上、啓発サイト「家電情報ポケット」での安全・安心のための啓発活動など、社会の動向に沿ったお客様対応を実践している。</p>	<p>消費者志向の企業風土醸成の取組みを、トップや経営陣が参画し継続・徹底していることを高く評価する。 商品別専用フリーダイヤルの導入やサイトを活用した消費者啓発など、消費者とのコミュニケーションの充実と安全・安心な暮らしのサポートの取組みが素晴らしい。 「消費者志向経営」のモデルとなる優れた事例であり、今後の継続発展を期待したい。</p>
<p>視覚障がい者向け操作マニュアル～操作方法習得のための音声マニュアルの改善取組み～ パナソニック株式会社アプライアンス社 ホームエンターテインメント事業部</p>	<p>視覚障がい者の機器操作方法習得の実態を把握し、音声で伝える操作マニュアルの課題を整理して、ICレコーダーのマニュアル改善を実施。 当事者と介助者の意見をもとに、視覚障がい者用音声マニュアルと介助者用画像マニュアルを一体化し、介助者が当事者の疑問点をくみ取りやすく、双方にとってわかりやすいものに改善。今後、高齢者向けや、絵や動画を用いたマニュアル等にも展開していく。</p>	<p>視覚障がい者本人のみならず、介助者にも配慮した取組みで、当事者と介助者の双方の声に真摯に耳を傾け、改善に活かした活動は見事である。 視覚障がい者向けだけでなく、高齢化社会においても価値ある取組みといえる。 この改善で得たノウハウを、他の商品・サービスにも活用、展開されることを期待したい。</p>

神奈川県は特定商取引法及び景品表示法を所管しており、事業者の処分や指導を行っています。また、神奈川県、横浜市ともに消費生活条例を所管しており、必要に応じ、条例に基づく指導・勧告を行います。そのほか、神奈川県、政令市（横浜市、川崎市、相模原市）及び神奈川県警を構成員とした連絡会議を年4回開催しており、事業者指導に関する情報共有や合同指導の検討を行うなど、連携した取組みを進めています。

【参考1】行政処分・指導の分類

	(1) 特定商取引法	(2) 景品表示法	(3) 消費生活条例
神奈川県	業務停止命令 指示・勧告、指導	指示・措置命令、指導	指導、勧告
横浜市	—	—	指導、勧告

(1) 特定商取引法（特定商取引に関する法律）

＜対象となる取引類型＞

- ・訪問販売、通信販売、電話勧誘販売、連鎖販売取引（マルチ商法）、特定継続的役務提供（エステ・語学教室等）、業務提供誘引販売取引（「仕事を提供するので収入が得られる」などと誘引し、仕事に必要であるとして商品等売って金銭的負担を負わせる）、訪問購入

(2) 景品表示法（不当景品類及び不当表示防止法）

＜表示規制の概要＞

- ・優良誤認表示…商品・サービスの品質、規格その他の内容についての不当表示
- ・有利誤認表示…商品・サービスの価格その他取引条件についての不当表示

(3) 消費生活条例

神奈川県、横浜市がそれぞれ制定している消費生活条例では、消費者との取引に際し、事業者が行ってはいけない行為を禁止行為として規定している。この規定に違反していると認められた場合は、神奈川県、横浜市ともにそれぞれの条例に基づき、事業者に対し、指導、勧告を行う。

＜禁止行為の例＞

- ・重要事項不告知（訪問販売で、クーリング・オフの告知をした書面を交付しない。）
- ・迷惑勧誘（消費者が「忙しいから帰ってくれ。」と拒絶しているにもかかわらず、そのまま居座り続け、購入を迫る。）など

【参考2】神奈川県が実施する事業者向け研修（平成28年度実績）※平成29年度も実施予定

内 容	回数・参加者数	備 考
(1) 特定商取引法研修会	1回 179名参加	事業者団体と連携し、事業者を対象とした研修を実施
(2) 景品表示法研修会	6回延べ 484名参加	
(3) 消費者志向経営研修会	2回延べ 66名参加	

（第19期第4回神奈川県消費生活審議会 資料2別添P15より）

経済局関連団体の広報媒体について

1 - 1. 市工連（一般社団法人 横浜市工業会連合会）

【ものづくり支援課】

名 称	市工連ニュース（メールマガジン）
発 信 元	（一社）横浜市工業会連合会
発信頻度	月 2 回程度
内 容	ビジネス創造、販路拡大、経営力・社員の能力向上に関する情報など
対 象	会員等メルマガ登録者（約 1,100 件）

1 - 2. 市工連（一般社団法人 横浜市工業会連合会）

【ものづくり支援課】

名 称	市工連かわらばん（情報紙）
発 信 元	（一社）横浜市工業会連合会
発信頻度	年 6 回
内 容	販路拡大、社員の確保・育成等に関する実施事業のお知らせ、他機関からの情報提供等
対 象	会員企業等（約 2,000 会員）

2. 市商連（一般社団法人 横浜市商店街総連合会）

【商業振興課】

名 称	よこはま市商連（機関紙）
発 信 元	（一社）横浜市商店街総連合会
発信頻度	年 3 回発行
内 容	各商店街の取組み等の紹介、市からの情報提供等
対 象	市商連加盟店：約 10,800 名（個店も含む）
備 考	・「フロム市役所」というコーナーに行政からの情報を掲載している。

3. IDEC（公益財団法人 横浜企業経営支援財団）

【経営・創業支援課】

名 称	横浜企業経営サポートマガジン（メールマガジン）
発 信 元	（公財）横浜企業経営支援財団
発信頻度	毎月 1～2 回
内 容	専門家による起業・経営お役立ち情報 財団・横浜市による最新の応援メニュー 起業・経営の疑問に答える Q&A 情報
対 象 （登録数）	横浜での創業や新規事業展開に挑戦する企業家・中小ベンチャー企業 （約 6,940 名）
備 考	・国や県、市等の公的機関による支援情報等を発信

4. 横浜商工会議所

【経済企画課】

名 称	横浜商工会議所メールマガジンサービス (メールマガジン)
発 信 元	横浜商工会議所
発信頻度	毎月2回 (他機関からのお知らせは20日頃に発信)
内 容	事業活動のお知らせ、部会・支部情報、企業支援・金融などの経営情報、セミナー・講習会情報、簿記・そろばんなどの各種検定情報など
対 象 (登録数)	受信対象者は会員・非会員問わず (約 5,500 名)
備 考	・商工会議所からの情報 (15 日)、他機関からのお知らせ (20 日) と内容別に発信をしている。

5. 横浜市経済局

【経営・創業支援課】

名 称	企業支援@ヨコハマ (メールマガジン)
発 信 元	経済局経営・創業支援課
発信頻度	毎月1回
内 容	<u>市が実施する</u> 企業支援情報、各種催事、助成金のお知らせなど
対 象 (登録数)	市内企業等 (約 810 名)
備 考	・市の情報に特化したメールマガジン

Topic 2

2 「学校と企業の就職に関する懇談会」について

6月9日に開催する「学校と企業の就職に関する懇談会」参加企業募集については、昨年を上回るお申込みをいただきましたので締め切らせていただきます。

Topic 3

3 BioJapan2017神奈川パビリオン(仮称)出展企業を募集します！
<横浜市経済局>

パシフィコ横浜で開催されるアジア最大級のバイオ産業イベント「BioJapan2017」への出展のご案内です。

横浜市は昨年に引き続き、川崎市、木原財団等と連携し“神奈川パビリオン(仮称)”として出展し、バイオクラスターとしての横浜・川崎・神奈川エリアをPRします。このパビリオンで貴社の製品・技術PRをしてみませんか？安価でご出展いただけますので、ぜひご活用ください！

- ◆日時 平成29年10月11日(水)～13日(金) パシフィコ横浜
- ◆出展料 中小企業料金：6万円/1ブース、一般料金：8万円/1ブース

- ◆出展条件 以下の3点の条件をすべて満たす企業
 - ・「本社または事業所所在地が神奈川県内にある企業」または「横浜・神奈川バイオビジネス・ネットワークに加入する会員企業で構成される『バイオベンチャーアライアンス』に参加している企業」
 - ・原則、神奈川パビリオン(仮称)以外で出展しない企業
 - ・自社で製品の開発やサービスの提供を行っている企業

- ◆申込期限 平成29年6月2日(金)
- ※先着順です。(申込みいただけるブース数は、1社につき3ブースまで)

◎申込み・問い合わせ先
横浜市経済局ライフィノベーション推進課 中城、鈴木
TEL:045-671-3495 E-mail: ke-bio@city.yokohama.jp

Topic 4

4 オーダー型スキルアップセミナーのご案内
<神奈川県立東部総合職業技術校>

～ 企業のご要望に応じたセミナーを開催します ～

神奈川県立東部総合職業技術校(かなテクカレッジ東部)では、企業の皆様からのご要望に応じてセミナーを開催する「オーダー型」のセミナーを開催しています。「セミナーに参加したいが日程が合わない。」「社員のレベルに合わせてやって欲しい。」など、お気軽にご相談ください。詳細は、ホームページをご覧ください。

信頼と協調で市工連の輪を拡げよう

工業会会員募集中!!

新会員の紹介は、各地域工業会まで



市工連かわらばん

第160号
(2016年9月)

一般社団法人 横浜市工業会連合会

横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル2階
〒231-0023

TEL 045 (671) 7051 FAX 045 (671) 7321

市工連ホームページ <http://www.y-shikouren.or.jp>

●「受発注相談コーナー」(相談無料)は、ホームページで。

－本号の記事－

- ① 平成29年度横浜市予算に対する市工連要望について
- ② よこはま就労支援プログラム」 インターン実習生受け入れ企業の募集
- ③ 「新入社員等 若手社員のフォローアップ研修会」開催のご案内
- ④ 金沢産業団地の秋の祭典 PIAフェスタ2016開催! <(一社) 横浜金沢産業連絡協議会>
- ⑤ 横浜テレワーク推進事業のご案内 <横浜市経済局>

①

平成29年度横浜市予算に対する市工連要望について

平成29年度予算への要望につきましても例年通り、市工連の政策委員・施策検討委員並びに横浜市経済局及び横浜企業経営支援財団 (IDEC) の担当者により具体的内容について意見交換会を開催し、その内容を踏まえて、政策委員会で検討協議を行い要望書を作成します。

なお、平成28年度予算に反映された主な要望項目について下記2に掲載しました。

1 平成29年度予算への市工連予算要望のスケジュール (予定)

- (1) 施策検討会
政策委員の出席も得て、回ごとにテーマを変えての意見交換を7月～9月の間で3回開催、
開催時間は18～20時
第1回 操業環境、販路拡大 第2回 人材確保・育成、その他 第3回 総括
- (2) 地域工業会からの個別要望の提出 (8月上旬)
- (3) 施策検討会での要望案及び地域工業会からの個別要望を取りまとめ予算要望案を作成 (9月)
- (4) 政策委員会で予算要望案を検討協議の上、要望書を作成 (9月末～10月初旬)
- (5) 横浜市長に「平成29年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書」の提出 (10月下旬頃)

2 平成28年度予算への反映等についての回答 (主な事項)

要望に対する横浜市長からの回答文は「よこはま市工連」(平成28年7月発行)に掲載しましたが、予算への反映等で要望が実現した項目を取り出して記載します。(文章は簡略化してあります。)

※は実際の施策実施の中で、反映された事項

〔重点要望〕・・・2項目

- (1) 企業の人材確保・育成等の活動に対するトータルな支援
若者の「ものづくりイメージ向上」に向け、今後も高校生を対象とした人材確保・育成事業を、引き続き貴団体と連携して取り組んでいく。
※ものづくりの魅力を伝える事業の充実
- (2) 販路拡大支援の強化 (テクニカルショウヨコハマの一層の充実)
テクニカルショウの会場拡大についても視野に入れつつ、出展企業の要望を把握し、これを反映した展示会のあり方を貴団体とともに検討していく。
〔局別要望〕・・・主として対応された項目
- (1) 横浜市公共事業発注の際に担い手確保につながる発注の仕組みの検討
発注時期の平準化については、従来からの「早期発注の推進」、「発注時期の分散」に、新たに「債務負担行為を設定しての年度を跨ぐ工事の発注」を加え、これらをバランスを考えながら推進していく。
- (2) 区役所と連携した企業の健康経営への支援
「健康経営」の考え方を普及する研修会を各区と連携して開催。企業の中で健康づくりを推進する「企業健康推進員」の養成や、健康づくりに関する情報をメールマガジンで配信する「よこはま企業健康マガジン」などに取り組んでいる。また、小規模事業場のメンタルヘルスについては、関連機関と協働して支援していく。
- (3) 海外販路開拓支援事業の充実

輸出アドバイスや海外展示商談会出展助成などを引き続き行なう。

工業技術支援センターでは、輸出先の製品安全規格についての相談、情報提供、海外の製品規格に適合するための評価試験等様々な中小企業の海外展開支援サービスを行なう。

※海外企業ニーズとのビジネスマッチング事業の拡充

(4) 地域貢献企業認定事業の一層の充実

認知度向上のため、関係部署間での連携強化や広報よこはまなどを活用したPRなどの取組を進めるとともに、企業ニーズにあった支援策の検討や、事業の充実を図る。

※融資制度「よこはまプラス資金」の利用の優遇

※「中小企業製造業設備投資等助成制度」利用資格要件の緩和

(5) 操業環境向上に対する助成

中小製造業設備投資等助成制度で、操業に伴い工場から発生する騒音・振動等を低減する機器類の導入を新たに助成対象とする。

(6) 各区役所でのものづくり産業への支援

企業の情報やニーズを区役所と共有することが、重要と考え、現場訪問支援事業では、区内の中小製造業の実態把握に向け、必要に応じて区役所職員も参加している。今後も、訪問等で得られた企業のニーズを共有し、区で行っている様々な取組と連携して中小製造業を支援していく。

※区で行う人材確保につながる事業の支援（区配事業）

(7) 従業員向けの設備費等の補助

職場環境の改善については、これまでの対象に加え、平成27年度より女性専用設備の設置費用も助成対象とするなど、女性活躍推進にかかる支援を充実させた。

(8) ワンストップ相談事業などの一層の充実

ワンストップ経営相談窓口では、事業承継等も含めた企業が抱える幅広い相談に、引き続き対応していく。今後も、現場の声を聞き、課題解決に役立つような支援策や相談窓口をわかりやすく紹介できるよう工夫を図るとともに、きめ細かな対応により、引き続き事業の充実に努めていく。

(9) BCP策定への支援

IDECの中小企業支援センター事業に位置付け、企業のBCP策定を支援していく。

②

今年度
最終募集!

従業員の採用をお考えの企業様

平成28年「よこはま就労支援プログラム」

インターン実習生受け入れ企業様を募集します

・募集をしても人材が集まらない

・自社をうまくアピールできない

・すくやめてしまう

そんなお悩みを抱えていらっしゃいませんか？採用意欲のある企業様とやる気のある若手人材、職場復帰に意欲のある女性人材との橋渡しを行う、インターンシップ事業を活用して採用してはいかがでしょうか？

★インターン実習受入れのメリット

1 就職意欲の高い人材いと出会える

やる気のある人材とインターン実習期間（1週間程度）を通して接することで御社に必要な人材かどうかご判断いただけます。双方の合意があればすぐに採用できます。

- ・横浜市内在住・在学・在勤の18才以上40才未満の若者
- ・横浜市内在住でキャリアブランクがあり再就職を希望する女性

2 ミスマッチの少ない採用が可能

インターン実習前に実習生に対し企業紹介の場となる「マッチング交流会」を開催し、相互理解を深めることによりミスマッチの少ないインターン実習に結び付けます。

3 採用募集費用の削減

給与、交通費、食事代、採用に関する費用は一切かかりません。また、研修生は、全員インターンシップ保険の被保険者となりますが企業様のご負担はありません。

★インターン受入時期：第3期生：平成28年11月中旬

★お申込み 申込先：一般社団法人横浜市工業会連合会 TEL：045-671-7051

下記御申込書にご記入いただきFAX(045-671-7321)にてお申し込み下さい。

貴社名			
所在地	〒		
役職		FAX	
TEL		希望人数	
E-mailアドレス			

※受付後、受入概要、職場環境についてご記入いただき、横浜市就職サポートセンター事業受入申込書をお送りいたします。

本事業は、株式会社バナナが横浜市より運営を受託し、一般社団法人横浜市工業会連合会が体験就業受け入れ企業（インターン実習）を募集してマッチングを図ります。

新企画！「新入社員等 若手社員のフォローアップ研修会」開催のご案内

今年度新しい試みとして、入社期間の短い若手社員を対象としたフォローアップ研修を企画しました。今年度入社された新入社員をはじめ、入社5年目程度の若手社員の方を対象に、更により良い仕事をするための考え方等を学んでいただきます。

《フォローアップ研修のメリットとポイント》

- 1 入社1～2年目の方には、新入社員として入社後を振り返り身につけた能力を検証し、不足しているところと今後の課題を見つける
- 2 3～5年目を迎えた社員の方には、自分から周囲に働きかける積極的な姿勢を身につける。加えて「自分の能力」、「仕事のやり方」、「対人関係」の3つを通じて、これからの仕事へのヒントを学ぶ
- 3 自分をどのようにスキルアップさせてゆけばいいか、その方法を実践的に学ぶ

日時 平成28年11月9日（水） 9：30～17：30 グループ討議・訓練
17：30～19：00 交流会

会場 産業貿易センタービル 「産貿ホール2F 小展示室」

定員 30名

参加費 9,000円（昼食お弁当・交流会費含む）
申込書受付後、請求書を送付させていただきます。

対象者 今年入社の新入社員及び入社5年目程度の若手社員
市工連新入社員合同研修に参加していない方もご参加いただけます。

カリキュラム

9：30	私自身の今までの振り返り 職場の振り返り	自分の仕事の再認識 仕事の問題点の克服
12：30	昼食・休憩	
13：30	自分から働きかける人間になろう 働きかけ人間の積極マインドの基本 会社の組織の一員としての自覚を持つ	自発的行動の意識づけ 前向きなマインドの構築 会社員としての意義の徹底
	まとめ	周りとの調和・協力を考慮し、仕事を通じて自己成長を図ることの重要性を理解する
17：30	交流会	

申込・問い合わせ先 (一社) 横浜市工業会連合会 TEL 045-671-7051

申込み方法 申込書にご記入の上FAXでお申し込みください。

参加申込書

FAX 045-671-7321

貴社名				
代表者名				
ご住所	〒			
電話番号		FAX番号		
ご担当者様				
参加者氏名 (ふりがなを付けてください)	年齢	性別	参加者所属部署	入社年度
	歳	男・女		
	歳	男・女		
	歳	男・女		
	歳	男・女		
	歳	男・女		

金沢産業団地の一大イベント PIAフェスタ2016開催!

金沢産業団地の秋まつり「PIAフェスタ(ピアフェスタ)」を次のとおり、開催いたします。参加型・体験型のイベントや見て楽しいステージイベントの開催、金沢産業団地企業の製品販売(カステラ、レーズンサンド、総菜ほか)、飲食関係の模擬店、問屋直売企業の出店が予定されています。

今年はテニスコートをキッズコーナーとし、エア遊具(ふあふあ)などを設置、会場入口付近は、大道芸や金沢消防署による消防車両展示、お子様向けの消防服着用体験も予定しており、家族で観覧、参加できるエリアを設け、金沢産業団地を知ってもらいながら、色々と楽しめる内容となっています。皆さまのご来場をお待ちいたしております。

開催日時：10月21日(金)10時～21時、22日(土)10時～18時
 ※前夜祭 10月20日(木)17時～20時 振興センター入口付近限定
 会場：横浜市金沢産業振興センター(所在地：横浜市金沢区福浦1-5-2)
 主催：(一社)横浜金沢産業連絡協議会、横浜シーサイドフォーラム
 共催：(公財)横浜企業経営支援財団
 後援：(一社)横浜市工業会連合会ほか

主なイベント(予定)：

20日(木)＜前夜祭＞ 振興センター入口付近にて飲食できるオープンテラスを設置。

お気軽にお立ち寄りください。

21日(金)お神楽(富岡八幡宮)、海外研修生による音楽&ダンスイベント、個人参加型フットサル、小学生サッカースクール、カラオケ大会を含む音楽イベント、赤十字による献血活動、抽選会、模擬店ほか

22日(土)飛行機(紙飛行機)を作って飛ばそう、八景島のペンギン展示、大道芸、地元のお囃子の披露、地域の学校や団体等による音楽イベント&ダンスイベント等、メガ(巨大)ジェンガ等参加型ゲーム、ヨーヨー釣り、子供向けエア遊具、防災フェスティバル(消防車展示・子供用防火服着用体験等)、抽選会、模擬店ほか

詳細は、ホームページにてご確認ください。(9月26日頃アップ予定) <http://www.sanrenkyo.jp/>

横浜テレワーク推進事業のご案内 <横浜市経済局雇用労働課>

横浜テレワーク推進事業では、多様な働き方を創出する環境づくりを進めるため、「テレワーク」や「クラウドソーシング」などの普及・啓発を行っています。

9月に「クラウドソーシング活用セミナー」、11月に「テレワークセミナー」を開催する予定ですので、是非ご参加ください!

1 横浜市クラウドソーシング活用セミナー

- ◆日時：平成28年9月13日(火)13:30～16:00(13:00開場)
- ◆会場：YCCヨコハマ創造都市センター 3階イベントスペース(横浜市中区本町6-50-1)
- ◆主催：横浜市 ◆参加費：無料
- ◆対象：横浜市内中小企業及び横浜市内に事業所のある企業等
- ◆定員：50社・100名(事前申込制、定員になり次第締切)
- ◆内容：人材不足の解消、コスト削減、競争力強化、業務効率化など様々な課題解決へ向けた新たな手法として、インターネット上で企業から個人等に対して仕事を依頼することができる「クラウドソーシング」が注目されています。
 本セミナーでは、「横浜市の雇用情勢とこれからの人材活用」や「クラウドソーシングの内容と活用方法」、「実際に活用している中小企業の生の声」をご紹介します。

2 横浜市テレワークセミナー(予定)

- ◆日時：平成28年11月7日(月)14:00～16:40(13:30開場)
- ◆会場：横浜情報文化センター 6階 情文ホール(横浜市中区日本大通11)
- ◆主催：横浜市 ◆参加費：無料
- ◆対象：横浜市内中小企業及び横浜市内に事業所のある企業等
- ◆定員：50社・100名(事前申込制、定員になり次第締切)
- ◆内容：本セミナーでは、時間や場所にとらわれず、多様な人材スキルを柔軟に活用できる在宅勤務を中心としたテレワークについて、ご紹介します。
 また、ちょっとした疑問を聞くことが出来るテレワーク導入個別相談会も併せて開催します。
 (テレワーク導入個別相談会は、セミナー申込の上、要予約)

※[2 横浜市テレワークセミナー]については、内容や時間が変更になる場合もあります。詳細が決まり次第、下記URLに掲載いたしますので、そちらをご確認ください。

◎1、2ともにお申込み・詳細はこちら <https://www.pasonatech.co.jp/lp/ytele/top.jsp>

◎1、2のお問合せ先

横浜テレワーク推進事業事務局 TEL 0120-847195 E-mail: yokohama@pasonatech.co.jp

特集

商店街の よりよい 組織づくり

会長ひとりに負担をかけない商店街運営

昨今「会長の後任がみつからない!」という問題に直面している商店街が増えています。厳しい商店街環境が続く中、各個店は時間や人手に余裕がなく、商店街活動までなかなか手が回らない、というのが現状かもしれません。とはいえ、このまま会長ひとりに多大な負担をかけてしまっているのでしょうか。

会長職は商店街リーダーであり、いわば地域の顔役のような存在です。商店街全体の取りまとめや外部との折衝に専念することこそが大事な役割であり、会長が商店街活動や事務作業までもこなさざるを得ない状況では、会長職の本来の魅力が半減してしまいます。これでは会長の後任はみつからず、商店街が立ち行かなくなる、ひいては存続ができない、という悪循環にも繋がりがかねません。商店街は会員全員の集合体、皆で支えるべき組織です。今こそ役員を中心にやるべき業務を分担した組織づくり、商店街のチームワークを高めることが急務です。

関係先からの郵便やファックスの受け取り、コピー印刷、回覧という事務仕事から、会合開催には、会場の予約、お知らせ、会議の資料作り、さらに街路灯やフラッグの管理、各種申請・報告…と、細やかな業務の積み重ねの先に充実した商店街活動があります。会長やごく一部の会員でこのような業務をこなすのは不可能であり、情報伝達や運営そのものに支障が出てしまうケースも珍しくありません。事務員さんのいない商店街は、ことさら会員の役割分担が重要になってきます。今号では、「商店街はみなで支え合うもの」という心意気で、小さくても魅力ある商店街づくりを可能にしている2つの商店街を紹介します。

群馬県 太田市 太田商店会 P02

東武田沼線太田駅からバスで往田南下車、徒歩5分ほどの住宅街にある商店街です。手入れの行き届いた季節の花々が溢れるレンガの散歩道と広場の周囲に店舗が立地する安心安全な環境は、地域の皆さんの憩いの場にもなっています。

「花まつり」、商店街プロレスも誘致する「夏まつり」「ハロウィン」「朝市」「屋台村」などのイベントを開催しています。ゆるキャラ「えだきんぎょ」も賑わいづくりに一役買っています。



東京都 新宿区 オレンジコートショッピングセンター会 P03

JR高田馬場駅とJR新大久保駅の真ん中に位置する「オレンジコートショッピングセンター」内の店舗で構成される商店街です。かつては盆踊りなどの大きなイベントも開催していましたが、「毎日していただくお買い物に、楽しい仕掛けをすることに力を注ごう」と、年7回の売り出しや抽選、くじ引きに特化し、好評を得ています。また同時期には、商店街運営の役割分担も明確にしました。



集金業務の大変さを知ってもらおうと、商店会費の集金は全店で持ち回るといった仕組みを構築、会員全員のかたで集客アップに向けて頑張っています。

横浜市商連機関紙(年3回発行)

よこはま 市商連

No.179 2017年(平成29年) 5月号

発行 一般社団法人 横浜市商店街総連合会
発行人 石川清貴
〒231-0048 横浜市中区蓬莱町2-4-1 横浜大通り公団ビル5階
TEL045-250-6613 FAX045-262-2077
制作 場所づくり研究所(有)ブレイス
<http://www.yokohama-syoutengai.com/>

第14回 横浜F・マリノス
天野 純 選手 & 磯子区 プララ杉田専門店会会長 生花店「フローリスト花だより」 佐藤 祐治 さん
JUN 14
©Y.F.MARINOS

都筑区 えだきん商店会

会員数 20

困ったことは真庭会長が助けてくれる、という安心感が各会員の商店街活動を積極的なものにしてます。大好きな商店街を末永く残すために自分ができることは何か、という視点で役割分担、また、その役割を経験することで、さらに会長や商店街への愛着を生む、という良い循環ができています。



真庭会長(就任25年)
サービス業「(有)真庭商事」

会長としては楽をさせてもらってますね。背負い込まず、出しゃばらず、の名ばかり会長です(笑)。だから長きにわたり務められています。「やるべきことをみんなで分担する」という雰囲気はずっと昔からです。小さな商店街ですから助け合わなければ運営が立ち行かなくなることを各々がよくわかってきているんでしょう。みんなが商店街を大事に思ってくれていると感じています。

イベント当日は会員を核として、商店街を応援してくれる地元自治会の皆さん、地域団体のみんながよく動いてくれるんです。その分僕は楽しみながら裏方に徹し、関係先への挨拶や、お客さまや子どもたちへの声かけに気を配って、イベント全体を俯瞰的に見ることができています。

何事も一所懸命頑張ってくれている会員の気持ちを大事に、とにかくチャレンジしてもらいます。何かあれば僕に言ってくれ、ということだけはいつも言っています。最後の責任は会長にありますから。



高橋さん(会計・花壇管理)
理容室「ファミリーサロンKEN」

出来るだけ現金は持ち合わせず、お金の出し入れが通帳でわかるように集約して、月ごとに残高は合わせています。外出ができる業種ではないので、店にしながらできる会計を担当させてもらっています。また、商店街に来てくださったお客さまをお花でおもてなしするための花壇すべてを維持管理しています。都筑区のハマロードサポーターにも登録、地域の方にも声をかけてお手伝いいただき、交流できるのも楽しみのひとつです。

会長とのパイプ役、イベントの統括が主な仕事です。開店ほどなく夏祭りや朝市を企画運営させてもらったのがきっかけで就任しました。イベントも僕ひとりですべて行うのではなく分担しています。例えば、自治会にお餅つきのご協力いただく「花*花まつり」では、地域とのお付き合いの長い高橋さんに主担って動いていただいています。「えだきんぎょ」も地域団体がすべて運営してくれているので頻繁な活用が可能になっています。イベント開催は人が来てくれるか、事故は起こらないか、と緊張感は常にありますが、任せてもらえることでやりがいを感じています。商売の繁忙期と商店街の業務が重なると大変なので、スケジュール管理、早めの早めの準備を心がけています。



宮原さん(副会長兼企画担当)
生花「FLOWER GIFT SHOP YUU」



内野さん(広報)
酒と米「うちの」

イベントのポスター、チラシの発注、新聞折込の手配、ホームページ更新の依頼をしています。近隣へのポスティングや掲示物は会員で手分けして回っています。あとは情報発信の管理ですね、会員4人でイベントの様子や四季折々の写真をフェイスブックにアップしています。みんな、商店街の賑わいづくりになるならできることはやっていこう、という気持ちだと思います。



船橋さん(総務)
喫茶・軽食「Asuta Cafe」

会長が届いたファックスやお手紙を届けてくれます。その書類管理、各所への返信、補助金申請・報告などを担当しています。また、会議などの議事録作成を担当しているのですが、会長や宮原さんに内容をチェックしていただけるので不安なく取り組んでいます。議事録の配布は、うちの障害者自立支援活動の一環として従業員で分担しています。お届けにあがることで顔や名前を覚えてもらい、商店街で会った時に声をかけてもらえるなど、ありがたい機会になっています。

らだけではもったいないです。商店街活動を通して日々の商いと異なる経験を積み、見れば、商店街やまちそのものの未来を考えられるリーダー育成に繋がっていきます。歴代の商店会長たち。「いつかは商店会長になって商店街を支えるぞ!」と若手が商店街活ければいいですね。

東京都新宿区 **オレンジコート** 会員数 27
ショッピングセンター会

小菅会長は商店街をチームととらえ、トップでありながらパイプ役に徹しています。新しい会員には商店街でうまくやっていけるようルールやしきたりを折に触れて伝え、仲間として歓迎します。会員はその恩返しに、と商店街活動に自然に参加していきます。古くからの会員の力とうまく融合し、それぞれが力を発揮できる組織づくりを可能にしています。

会長は4代目ですが、「内部の団結を大切に」という意識は先代たちから脈々と受け継がれています。商店街という舞台で演者は会員の皆さん、気持ちよく働いていただけるよう、どんな役が合っているかを考えてお願いします。その総合プロデュースが会長の役目だと思っています。商店街には才能をお持ちの方がたくさんいますから、適材適所で、女性ならではの、若い人ならではの、新しい人ならではの視点やそれぞれの考え方を尊重してお任せしています。女性役員お二人の存在にもすいぶん助けられています。会員が困っていないか、業務の負担が偏ってしまっていないか、などにはいつも目配りしています。特に、うちの商店街を選んで出店してくれた新規店舗がスムーズになじめるよう、私が一緒に行って会員に顔合わせします。商店街が未長く続くためには、全てが「人」。大事な仕事はその種まき、「人育て」だと思っています。



小菅会長(就任5年)
調剤薬局「コスガ薬局」

イベント景品の発注や仕入れ、また、イベント時の写真撮影をしています。他地区での店舗経営もしており留守がちなのですが、忙しいなかでも担当していることをキッチリこなしている先輩たちの姿勢に感化され頑張っています。オレンジコートに開店して11年、この4月から副会長になりました。実力はまだまだですが不安はありません。みんなが必ず助けてくれる、と信じているから受けられる。一生懸命やろうって思えます。



間宮さん(副会長・外渉部長)
通信事業「KSI金城インターナショナル(株)」

経理全般は主人で私は日々の会計と、さらに家庭内で役割分担しています。外出はできないので信用金庫さんに入出金の訪問をお願いしています。またイベントは、装飾や景品に季節感が出るように、自分自身も楽しみながらお客さまの笑顔を思い浮かべて企画しています。「あの商店街の雰囲気が好き」、そう感じてもらえたら嬉しい。小さくても未長くお客さまに愛される商店街でありたいです。



吉瀬さん(経理部長・イベント企画)
美容室「sara」

間宮さんと同じく、イベント景品の発注や仕入などを行なっています。また男手が必要な作業の声かけですね。分担してフラッグやポスターを配布、掲示してもらいます。僕は3代目なのですが、動ける人は動く、という雰囲気が継承され、新しい方も皆さん協力的です。そろそろ経理業務を若い世代に継承する、ということで今期から経理もお手伝いしながら勉強します。



赤坂さん(副総務部長・経理補佐)
理容「アカサカ」

ポスターやチラシのデザイン・編集担当です。デザインソフトを持っていたことが担当のきっかけでした。うちのチラシは独特で、定型の書き込み式原稿依頼書を各店に配り、手書きで作ってもらい、僕がレイアウトするという流れです。自店のPC作業なので時間を見つけて進められています。新しいお店も増え、そのお客さまがウチに来てくれるようにしたい。その逆ももちろんそうです。そんな回遊を生むためにも広報は大事にしています。



宮下さん(広報担当)
雑貨店「マイ・ポシェット」

補助金申請、区商連や役所の窓口、売り出しなど年7回のイベント運営管理をしています。申請作業は苦勞することもあります。それが商店街の賑わいづくりに直結しているので、やりがいはあります。小菅会長が前総務部長だったので、なんでも相談ができるという安心感も大きいですね。イベントでは、「あの景品よかったわ。」なんて感想を直接聞けることも頑張れるモチベーションのひとつ、お客さまの笑顔にちゃんと繋がっていることが実感できます。



相沢さん(総務部長)
Tea&Sweets「COCOONZ<ーん」

商店街活動は「やらざるを得ない」業務を負担しあう、というマイナスのイメージを持って知識や人間関係を広げることは自身を成長させてくれます。やがて自身の商売の可能性も広商業者として地域の商業基盤を支え、地域や行政、外部団体と信頼関係を築きあげてきた動の経験を積み、満を持して会長職が後継されていく、そんなサイクルを作り上げていか

区商連会長による うちの区紹介します!



西の玄関口

瀬谷区は南北に5本も川が流れ、緑豊かな区です。水辺での散歩や釣りも楽しめ、野鳥も多く見られます。身近に自然を満喫できるし、子育てにもとてもいい環境ですよ。昨今は子育て支援施設も増え、若い世帯の流入を感じています。24年越しの瀬谷駅再開発事業が進捗し、2026年には米軍上瀬谷通信施設跡地での花博開催計画もあり、横浜の西の玄関口として大きな賑わいが期待されています。その追い風を受けて地元商店街が賑わいの波を乗せるかどうかが勝負どころだと思われています。

地域と共に生きる

商人が自分の商売だけ頑張っていたら、よかつた時代は終わりました。商店街から積極的に自治会や行政に歩み寄る力を借り、商店街が牽引して地域全体を盛り上げていかなければいけません。永年の地域との信頼関係は大型店に絶対負けないはず。瀬谷区では商店街が震災復興の募金を集めたこと

がきっかけとなり、岩手県大槌町に漁船「瀬谷丸」を贈ることができました。現状を嘆いているより、地域と共に地域のために動く、商店街の活性化はその先にあるものと思っています。

出会いと経験は宝になる

僕自身、商店街はもちろん、商工会や地域活動での出会いや経験で自分が磨かれ、人生豊かになりました。年がら年中「石垣さん来てー」なんて声がかかる(笑)、忙しいけど嬉しいものです。三ツ境にも商店街活動に関わってくれる若い会員たちはいますが、立ち並ぶ大型店の影響で商店は疲弊し、人手も時間も余裕がない中、やりくりして頑張ってくれているお店の現状です。商業も年中無休、深夜営業などが見直され、このような出会いと経験を積んで本当の意味の豊かさを取り戻してほしいです。

これからの商店街

うちの商店街も物販店が減り、飲食店が増えすぎました。飲食店がこれからの商店街を牽引する主流の業種のひとつになるでしょう。実際、商店街イベントに積極的に出店してくれるところも多く、販売へのパワーを感じています。もっと意見やアイデアを聞いていきたいです。飲食店を始め、夜にお店から出る事ができない業種も増えていますので、役員会の時間を日中に変えていくなども今後の課題だと思っています。



卵かけご飯専門店 たまごcaféごはん (瀬谷銀座通り商店会)
瀬谷区瀬谷4-9-1 TEL 301-5505

昨年10月、昔ながらの商店街にとびきりおしゃれなカフェが出現しました。木の温かいぬくもりを感じられる店内には優しい時間が流れています。

大好きな地元で頑張りたいオーナー家具や内装工事を手掛ける会社も経営するオーナーの櫻庭あかねさん。自社の家具を生かした心地よい空間を作りたいたい、「住」へのこだわりは、15年以上も通う南魚沼で魅了された米の美味しさを伝えたい、という「食」への強い思いで起業しました。瀬谷区内の商店街エリアでお店を構えようと決めていたのは、商売に浮き沈みがあっても大好きな地元でなら頑張っていけると思ったから。「商売をさせてもらう地域には商売で恩返しをする」という初心をぶらすことなく頑張りたいそうです。

地産地消で地域貢献

こだわりの生卵に魚沼産「シヒカリ」、4種類のかけ醤油で味比でも楽しめます。看板商品の「卵かけご飯」に特化しながらも、卵料理、唐揚げ、スイーツなども提供し、幅広い年齢層に支持されています。「卵かけご飯専門店」として興味を持っていただけるようですね(笑)。今後商店街からの仕入れを増やしていきたいです。区内、商店街内の地産地消を進めて、地域貢献そして共存共栄の一端を担えたらと思っています。」と話す櫻庭さん。今は商店街内のお肉屋さんから鶏肉を、区内の麴屋さんから味噌を仕入れています。

商店街の底力

開店ほどなく商店街のハロウィンイベントに参加し、あんなにたくさんの子どもたちを楽しませてあげることができると、商店街という場の大切さ、底力を実感させられたそうです。「子どもたちの笑顔を生み、成長を見守っていただけるようなお店になりたいと思っています。商店街の力を借りながら新しいお客さんをお呼び込めるお店にしたいと思っていますね。」と櫻庭さん。

今期より商店街の理事にも挑戦することになった櫻庭さん。今後、商店街内部にも活力をプラスしてくれることでしょう。



会長
一押し
のお店!

This is
our ward

区商連会長に区のこと、商店街のこと、商売のこと、ざっくばらんに語っていただきます。会長の区内一押しのお店も紹介します。



保土ヶ谷区商店街連合会会長
和田町商店街協同組合理事長
村上 弘一
書籍・文具販売「村上書店」

保土ヶ谷区の商業

保土ヶ谷区は丘陵地が多く、「坂のまち」なんて言われます。その昔は東海道五十三次4番目の宿場町「程ヶ谷宿」として栄えていました。戦後、今の旭区方面から生産品を荷馬車に積んだ農家が天王町市場で商売をし、和田町に寄って買い物をして帰るという流れがありました。そんな背景があつてか物販業が盛んでしたが、特にこの10年で物販業はすっかり減ってしまいました。うちの商店街も10年で65%のお店が変わりました。今後物販業を誘致できるのが活性化の鍵になると思っています。

横浜国大との連携

うちの商店街が地元横浜国大との商学交流を始めて16年が経ちました。学生考案で始まった「和田へん」の「ゆるケット」はじめ、「お弁当わだべん」ゆるキャラ「わだまる」のプロジェクトなど、若いアイデアで商店街を盛り上げてくれています。「和田町タウンマネージメント協議会」では教授に学生、商店街、

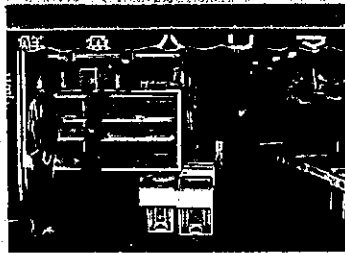
町内会で構成され、まちづくりに取り組んでいます。うち商店街の意見では通りにくいであろう、イベントのための通行止めや駅前道路の改修なども実現してきました。地域資産である横浜国大との連携を、区内の他商店街に広げていきたいですね。

商店街の後継者問題

うちの商店街も役員の後継者問題が課題ですね。やる気があつて経験も積んだ適任者は育ってくれていますが、「日中はお店を空けられない」「重責を負えない」という現状もあり、せうかくの人材はあっても金手が足りない。まして小さな商店街ではなおさらでしょう。区商連会長として、少ない会員で奮闘してくれている商店街に対し「何か後押しできることはないか」といつも考えています。

商店街回帰の兆し

「子どもにはどんな本がいいですか。」とアドバイスを求められることもあります。お客さまと丁寧に対話を重ね、納得していただいているから買っていたいただきます。後日「とてもいい本でした！」なんて声が聞けるのは、まちの本屋さんさんの醍醐味です。最近、お客さまが「ミニニゲーション」を求められているような気がします。「モノ」を手に入れることだけに物足りなさを感じているのなら商店街のチャンス到来です。その分、お客さまの期待に応えられる知識や接客力を磨いておかなければなりません。



鮮魚 ハリマ (上星川商店会)

保土ヶ谷区上星川3-3-3 TEL 371-3352

店頭に並んだ新鮮な魚に思わず足を止め、店主に話し掛けるお客さんの姿。「近所の魚屋さんで魚を買える」という暮らしは、最高の贅沢かもしれません。

会長
一押しのお店!

魚屋になりたかった

かつての播磨国、兵庫県相生市で生まれ育ち、小さいころから魚が身近な存在だった寺坂悦郎さん。大学卒業後、魚屋を目指し、9年間働きながら修行した後、緑区でお店を構えて4年、この地に移り20年になります。「同じ商圏に6軒あつた魚屋がうちだけに。昔ながらの魚屋が貴重に思われる時代になりましたね。」と寺坂さん。決まった種類の切り身しか食べたことがないような若い人たちに、種類が豊富で旬もある魚の本当の魅力や美味しさを伝えていくことが自身の使命だとも感じています。



魚屋を極める

同じ産地の同じ種類の魚でも気候や気温、条件によって品質はまったく変わります。産地、大きさ、値段を提示してFAXで仕入れるのではなく、毎朝市場に足を運び、自分の目で選ぶ。それこそがスーパーではできない、魚屋としての矚れない部分だそう。ロスを出さないように自家製のしめ鯖やイカの塩辛なども調理し、お客さまに喜ばれています。

商店街の未来のために

同商店会会長に就任して6年、近隣小学校の商店街見学に協力したり、防犯パトロールや防犯カメラ設置、商店街の歩きづらかった道路の舗装工事などを手掛けたりしました。「最盛期1/4の人通りとはいえず、商店街を頼ってくださるお客さまはたくさんいる。商店街の個性は100年、200年も続く老舗を目指して地域の商業基盤を支えていかなきゃ。買い物難民なんて作っちゃいけないんです。」と寺坂さん。商店街が末永く愛されるよう地域のためにできることは積極的に取り組む、次世代に託したいと思っています。

息子の正幸さん(写真左)と親子2代で店頭に立ちます。自ら継いでくれた気持ち嬉しい分、2世帯がきちんと食べていけるよう、毎日が真剣勝負です。

がんばれ!

横浜F・マリノス

第14回の対談は、天野 純選手と磯子区・プララ杉田専門店会会長の佐藤祐治さんです。

佐藤 はじめまして、天野選手と同じ横浜高校出身の佐藤です！今日はよろしくお願ひします。

天野 (びっくりして) 大先輩ですねー緊張します。こちらこそ今日はよろしくお願ひいたします。

佐藤 もうひとつ驚かせちゃおうと、天野選手は、初声小・中学校出身と聞いたんだけど、近くに初声歯科って僕の知り合いだよ。

天野 (さらにびっくりして) 初声を「はっせ」と読める方も少ないのに、僕の地元までお知り合いがいるなんてびっくりしました。

佐藤 今日は横浜高校の話がたくさんあったんだけど、時間がなくなっちゃうので対談が終わっちゃうからね(笑)。さて、突然ですが、三浦市ご出身の天野選手、横浜ってどんな印象ですか？

天野 みなとみらいのような華やかな都会に加え、下町っぽい商店街もたくさんあってメリハリがある。いろいろな楽しみ方ができる街だと思います。僕は商店街のほつとできる雰囲気が好きです。以前住んでいたところは近くに商店街があつて、よく足を運んでいました。大好きなお蕎麦屋さんがあります。

佐藤 嬉しそうですね。うちの商店街は杉田にあるんだけど、杉田って知ってるかな？

天野 なつかしいです！高校時代、授業終了後、普段は追浜の練習場に直行でしたが、練習のない日には野球部の友だちとよく電車に乗って杉田に行つて、商店街で揚げ物とかラーメンとか食べてました。

佐藤 杉田まで来てくれてたんだね、感激です。スーパーやコンビニって言ってもべらなくても買物ができるけど、個店は会話が必要になるでしょ。うちは花屋ですが、お客さんから産地を聞かれたり、逆にこちらから積極的に説明したりもします。そんなコミュニケーションを売ることが商店街の強みかな。モノを売るだけではない、地域のふれあいやつながりの場でもあるんです。

天野 はい、僕も地元に戻るとそんな雰囲気味わいたくなつて、必ず商店街にふらつと行きます。いろいろな野菜や

魚が並んでいたり、飲食店などがあつたりして、楽しいところですね。

佐藤 最近では横浜も生鮮三品が充実している商店街が少なくなくなつてね、本当は天野選手みたいなのが若い人にもワクワクするようなお店が並ぶ商店街にしていきたいんだよね。

天野 では、ここで対談恒例の質問です。天野選手がプロサッカー選手になつていなかつたとして、商店街でお店を出すなら何屋さんをやりたいですか？

天野 そうですね、甘いものが大好きなので、お団子屋さんなんてやってみたいです。

佐藤 なんだ、和菓子好きなんだ。僕の親戚に団子屋さんいるからお土産に持つて来たらよかつたなあ(笑)。じゃあ次も恒例の質問です。毎年横浜の商店街で、美味しいもののNo.1を投票で決めるイベント「ガチーシリーズ」今年も「チョコスイーツ」を投票対象にした「ガチーチョコ」なんですけど、好きなチョコスイーツありますか？

天野 難しいですね。(少し考えてから)チョコクレープ、チョコケーキが浮かびました。体調管理とかを気にしなければ、いくらでも食べられます(笑)。

佐藤 本当に甘いもの好きなんだねえ。今回杉田からはエントリーはないけど、磯子区からのエントリー、応援してね(笑)。そうだし先輩として、僕に杉田のお店を案内して美味しいものをご馳走させてほしいな。天野選手と会つたのが僕だけじゃもつたない、ぜひ杉田の子ど

佐藤祐治



磯子区・プララ杉田専門店会会長「生花だより」

もに会わせてあげたいです。天野 ありがとうございます。僕も小学校時代、プロのサッカー選手とふれあえる機会があつて、小さい頃からの夢が現実味を帯びた瞬間でした。絶対プロになるぞ、って誓ひ、今日があります。今度は僕の番です！よろしくお願ひします。

佐藤 握手をしたり、サインをもらつたりできたなら、生忘れられない思い出、サッカーをあまり知らなかつた子も、間違いなく横浜F・マリノスのファンになつちやいます。機会をつくりますので絶対に来てください。それでは最後の質問です。今後、サッカー選手としてどんな目標を持っていますか？

天野 はい、とにかくチームのために貢献したいです。その先に横浜F・マリノスの優勝です。いまはこれしか考えていないです。優勝して横浜の街をさらに活気づけられたら、と思います。

佐藤 ぜひ実現してください。横浜F・マリノスが優勝して、天野選手が日本代表になつてワールドカップに出場してほしい。これから商店街あげて、さらに応援しますね。

天野 ありがとうございます、頑張ります！

佐藤 横浜F・マリノスが優勝したら、商店街でお祝ひしましょう！あつ、しめに横浜高校の校歌も一緒に歌うからね。

天野 えっ？ はい、練習しておきます！(笑)

佐藤 いやあ、今日は会えて本当によかつた。ありがとうございます。対談終わったので横浜高校の話をしよ(笑)。横浜DeNAベイスターズの筒香選手って同期だよな？ 横浜高校が共学になるって知つた？

(対談後、横浜高校談義が続く...)



あまのじゅん

天野 純

1991年生まれ。神奈川県出身。追一横浜F・マリノスブライマリーユース、横浜F・マリノスジュニアユース、入道浜、横浜F・マリノスユース、順天堂大を経て2014年、横浜F・マリノス加入。背番号14番。

ホームゲーム

明治安田生命J1リーグ	第12節 5/20(土) 14:00 vs ベガルタ仙台	第18節 7/8(土) 19:00 vs サンフレッチェ広島
日産スタジアム開催ゲーム!	第14節 6/4(日) 17:00 vs 川崎フロンターレ	第19節 7/29(土) 19:00 vs 清水エスパルス
	第16節 6/25(日) 18:00 vs ヴィッセル神戸	第24節 8/26(土) 未定 vs FC東京

「ガチチョコ」スタートしました！

「ガチチョコ」スタートしました！

「ガチチョコ」エントリー全52商品が出揃いました。6月1日からいよいよ投票開始となります(7月31日まで)。対象はチョコレート味のメインとなっている甘い食べ物(スイーツ)で、「ガチあまー」以来5年ぶりのスイーツ大会となります。

今回も週刊少年チャンピオン、ロック界からX JAPANのPATAさんがギタリストを務めるRAIN他、料理の世界から、「元町SHIMOMURA」下村邦和さんなど、と多方面から豪華な皆さんが「ガチチョコ」をサポートしてください。商店街あけて大いに盛り上げていきましょう！

「商店街プロレス2017シリーズ」スタートしました！



今シリーズの開幕戦は、4月30日(日)戸塚区・戸塚駅東口ラピス商店会。大勢のお客さまが来場され熱狂していました。楽しく、にぎやか、そして喜んでいただける「商店街プロレス」。「プロレス見るなら大日本」買い物を「大日本プロレス」のパーフェクトを存分に味わってください。商店街もパワーアップしてまいります！

総会のお知らせ

平成29年度第1回通常総会
日時 平成29年5月30日(火)
午後2時
会場 横浜市民文化会館2階

4/30(日)	戸塚区・戸塚駅東口ラピス商店会
6/3(土)	磯子区・プララ杉田専門店会
6/25(日)	旭区・二俣川銀座商店会
7/23(日)	神奈川区・反町駅前通り商店街
8/5(日)	神奈川区・六角橋商店街連合会



区	商店街	番号	エントリー商品
瀬谷区	いちよう通り商店会	ソフィア洋菓子店	ルーロー・ショコラ
	三ツ境駅前商店会	アルテリア・ペーカリー三ツ境店	Wチョコメロンパン
	三ツ境商工会	モンテパン	ハッピーマカロン(ショコラ)
泉区	和泉商店会	ラフォンティエヌ	ラフォンティエヌ誘惑瓦
	和泉駅前アーケード商店街協同組合	パティスリー シェツパキ	ヘーゼル
戸塚区	戸塚駅東口ラピス商店会	純喫茶モネ	昔ながらの「チョコパフェ」
	原宿松茶会	眞匠 角福	あんこInショコラ
	戸塚宿ほのぼの和食会	おとげとぎょうざ	チョコバナナ餃子
	戸塚東口商店会	ぶちらばん	エスプレッソ・ショコラ
都筑区	えだきん商店会	Asuta Cafe	ショコラ de パフェ
	センター北商業振興会	ラ・メゾン	いちごアールグレイショコラのタルト
	仲町台商業振興会	パティスリー シュクレ	ショコラ・ボヌール
	えだきん商店会	手づくりパンとケーキのお店 パリジェニス	濃厚チョコスコーン
青葉区	桜台商店会	メイブル洋菓子店	チョコレートケーキ(バクークリーム)
	新島北商店会	Coonle	チョコデニッシュブレッド
緑区	霧が丘商店会	ケーキショップもら	青い空
	大倉山商店街振興組合	パティスリーピオン	大倉山ハチミツカカオ
港北区	大倉山商店街振興組合	調煉新世界	チョコレート菓焼
	妙蓮寺二丁目会	Boulangerie 14区	パンカカオとアイスの幸せサンド
	大倉山商店街振興組合	調煉新島 大倉山青柳	きなチョコだんご
金沢区	金沢文庫すずらん通り商店会	洋菓子の店 パビオン	キューブ・ショコラ
	サンモール洋光台	洋光台ハンバーガー Pass Time	チョコチップマフィン
磯子区	サンモール洋光台	駅そば	そばチョコ
	汐見台中央商店会	大宅門	大宅門巻糖
	白根通り商店会	ラ・フルール・ド・ポム	ポムのリンゴジャムを使ったザッパルト
旭区	白根通り商店会	キムチの由幸家	甘いチヂミ〜チョコ〜

区	商店街	番号	エントリー商品
保土ヶ谷区	和田町商店街協同組合	ダンゴのお店	ちよこん
	天王町商店街協同組合	和菓真酒	フライトチョコバナナ
	天王町商店街協同組合	天王町あげ餅	ぼどやジャイモモチ(チョコ味)
港南区	港南中央商店会	BAKERY STOVE	なめらかショコラ
	野庭ショッピングセンター	サザンポート94	チョコビスウィーツ ホットチョコバー
	丸山台いちよう坂商店街	ボンコアン	チョコレートワッフル
南区	横浜弘明寺商店街協同組合	盛光堂本舗	ちよこどら
	横浜弘明寺商店街協同組合	デュークベーカリー	チョコブラウニー
	横浜横通商店街協同組合	丸十早川ベーカリー	チョココロネ
	協同組合元町SS会	Kope Lani	チョコレートチーズケーキ
中区	協同組合元町SS会	kaoris	パティスリーショコラソースとバナナのプリンデザート
	本郷町商栄会	本牧ばらん	本牧製オリジナルチョコパン
	協同組合元町SS会	フランス菓子・料理教員 Elko Morita	モモチ道プリン ショコラ・ショー
	協同組合元町SS会	はらドーナツ横浜元町店	うきわドーナツ
西区	本牧通り商業活性化協会	本牧Hello! cafe	ガトーショコラ
	本牧通り商業活性化協会	お菓子のアトリエ ラネージュ	ガトーの森のおくひもの(市田南)
	サンモール西横浜商店会	プリンセスベバ	パンベルデュオ ショコラ
	藤原一番街協同組合	ふらんすやま本店	ポンプ オブ ショコラ
神奈川区	MARK IS みなとみらい	ふらんすやまマクイス店	オレンジショコラ
	神奈川中央商連会	ローゼンボア	サンクショコラ
	六角橋商店街連合会	SIX SQUARE BAKERY	ティンロケット ショコラ オランジェ
	六角橋商店街連合会	餃子M	チョコバナナ餃子
鶴見区	ガーテン山商店会	アトリエ・サンミエール	ガリチョコ
	ニッ谷通り商業会	横浜港町ベーカリー 五手裏	ショコラバゲット
鶴見区	岸谷商業協同組合	ベーカリー ベルエポック	ショコラベルエポック
	鶴見銀座商店街協同組合	エスプラン	フォンダンショコラ

大規模小売店舗の計画と届出書類を市役所で見るができます。

◇新設(新設のみ店舗所在区の各区分区域図でも閲覧することができます) 届出の内容(平成29年5月1日現在)

大規模小売店舗の名称(所在区)	主な小売業者	新設する日	店舗面積	縦覧期間 意見書提出期限
(仮称)新山下商業施設計画(中区)	㈱ドンキホーテ	平成30年6月1日	8,026㎡	H29.2/24~ 6/26
(仮称)ライフしらとり台店(青葉区)	㈱ライフコーポレーション	平成29年10月2日	1,593㎡	H29.2/24~ 6/26
(仮称)ロイヤルプロ横浜旭(旭区)	ロイヤルホームセンター(株)	平成29年10月29日	1,275㎡	H29.3/24~ 7/24
(仮称)ドンキホーテ鶴見店(鶴見区)	㈱ドンキホーテ	平成30年5月25日	3,470㎡	H29.4/5~ 8/7
(仮称)相鉄ライフ弥生台(泉区)	相鉄ローゼン(株)	平成29年11月28日	1,563㎡	H29.4/14~ 8/14

◇大規模小売店舗の施設の配置及び運営に関する変更

大規模小売店舗の名称(所在区)	主な小売業者	主な変更点	縦覧期間 意見書提出期限
オルトモール(神奈川区)	相鉄ローゼン(株)	開・閉店時刻	H29.2/24~ 6/26
アルコット二俣川(旭区)	(株)長崎屋	駐車場位置・台数、駐輪場位置・台数、駐車場利用時間、駐車場出入口数	H29.4/5~ 8/7
イオン横浜新吉田ショッピングセンター(海北区)	イオン(株)	駐車場位置・台数、駐車場出入口数	H29.4/5~ 8/7
ショッピングタウンあいたい(都筑区)	(株)東急ストア	駐輪場位置・台数、開・閉店時刻、駐車場利用時間	H29.4/14~ 8/14

横浜市内：問合せ先・縦覧場所・意見書提出先
横浜市民文化会館2階 電話 045-671-2598
HPアドレス <http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/jourei/ritihou.html>

「募集開始時期」
6月下旬(予定)

原則100万円
「補助率」2分の1
「補助限度額」
※選考あり

お問合せ
横浜市民局市民情報課
☎045(671)4235

「担当」
横浜市民局市民情報課
☎045(671)4321

法の解釈・個人情報保護制度についての問合せは国の相談窓口へ
個人情報保護法質問ダイヤル
☎03-6457-9849
受付時間:9:30~17:30(土日祝日及び年末年始を除く)

「フロム市役所」
商店街個店の
活力向上事業の募集案内

「フロム市役所」
改正個人情報保護法
が施行されます

YOKOHAMA 商店街 NEWS

NEWS ロゴマーク決定!

港南区・野庭団地ショッピングセンター、野庭サブセンター商店会の共通ロゴマークが決定しました!両商店街は横浜市住宅供給公社と共催してロゴマーク3案を提示、両商店街内に1ヶ月間投票箱を設置してお客さまに投票いただきました。3月5日(日)、投票結果発表と合わせて「NHKラジオ体操のお姉さんと一緒にラジオ体操をしよう!」を開催、小さな子どもからお年寄りまで180人が野庭団地センター広場で一斉にラジオ体操を楽しみました。「昨年よりお餅つき、ハロウィンを開催、そして今年は商店街プロレスの開催を予定しています。ロゴマークに込めた思い同様、さらにたくさんの人々が集まり、愛される商店街目指して、いろいろ仕掛けていきます!」と野庭団地ショッピングセンターの堀部会長。



結果発表!
350票中180票を
獲得して
A案に決定

広場を埋め尽くした
圧巻のラジオ体操

NEWS 「第40回ハートフルコンサート」開催



ご来場くださったお客さまをお出迎え

2月25日(土)市商連では、横浜文化体育館にて「第40回ハートフルコンサート」を開催しました。今回の出演は新沼謙治さん、鶴岡雅義と東京ロマンチカさん、城之内早苗さん。開演前に石川会長よりお客さまへご挨拶、日頃の商店街ご利用への感謝と今後ますますのご愛顧をお願いしました。昼の部、夜の部とも大勢のお客さまにご来場いただき、楽しいひとときを過ごしていただきました。



市商連役員を代表して
石川会長よりご挨拶

NEWS 「第2回鴨居桜まつり」開催

4月2日(日)、緑区・鴨居商栄会が「第2回鴨居桜まつり」を開催しました。昨年、鶴見川沿いの桜並木を名所にして地域の賑わいにつなげようと、同商店街が地元自治会とタッグを組み、立ち上げました。当日は商店街加盟店舗はじめ、地元の関係団体による40店もの模擬店が沿道に並び、大勢の花見客で賑わいました。「今日は沢山の会員が商売の場をこちらに移して頑張ってくれています。「年に一度だから!」と一肌脱いでくれました。地域には頑張っている商店街があるぞとアピールできる良い機会になるかと思えます。桜は満開とはなりませんでしたが、地域の絆を強くして末長く続けていきます。」と同商店街大川会長。



「エイエイオー」の
掛け声で開会宣言!
大川会長(写真中央)ら
関係者



沿道を埋め尽くす
お花見客

NEWS 新大船商店街で「朝市」を初開催

3月5日(土)、栄区・新大船商店街が「第1回新大船商店街朝市祭」を開催しました。商店街店舗と「かながわ朝市ネットワーク」の商業者、合わせて約30店舗が出店、遠方からも大勢のお客さまが来場し、熱気あふれる朝市となりました。音楽コーナーや子ども向け遊びのコーナーも賑わいに一役買っていました。「商店街だけではパワー不足なので、外部の力を借りての開催となりました。久しぶりのイベントだったので、地元の皆さんにとっても喜んでもらえました。区内の商店会長もたくさん駆けつけてくれて嬉しかったですね、イベント開催は大変ですが、やる価値がありました。日頃の賑わいに結びつけたいです。」と同商店街柳田会長。



開会式にて
柳田会長
より挨拶



買い物を楽しむ
たくさんのお客さんたち

バックナンバー

IDEC News

あなたの起業・経営を成功に導く！

「横浜企業経営サポートマガジン」 vol.336 (H28.6.9)

発行：(公財)横浜企業経営支援財団(横浜市中小企業支援センター)

IDEC News

◆◆

本メールマガジンは、(公財)横浜企業経営支援財団(IDEA)ホームページから「横浜企業経営サポートマガジン」メールマガジンにご登録いただいた皆様にお送りしています。IDEAが実施するセミナー・イベント等のご案内や起業、経営に役立つ情報です。ぜひ、ご活用ください。

【目次】

◎注目イベント◎

- ▼ 1 【NEW!】 ~6/30(木) ~女性経営者のための~
メンタープログラム【上級編】参加者募集!
- ▼ 2 【会計】 7/12(火)、7/14(木) 今ならまだ大丈夫!!
8割の経営者が誤解している決算書の見方、活かし方
- ▼ 3 【経営】 6/21(火) 売れる! 中小企業のマーケティングセミナー

◎新着情報◎

- ▼ 4 【NEW!】 ~6/24(金) ET/IoT 2016「横浜パビリオン」出展企業を募集します!
- ▼ 5 【NEW!】 ~6/30(木) ~創業まもない女性起業家のための~
メンタープログラム【中級編】参加者募集!
- ▼ 6 【NEW!】 7/21(木) 日本公庫・創業セミナー ~飲食店成功への道~
- ▼ 7 【NEW!】 7/28(木) ケーススタディで学ぶ! 事業計画作成のポイント

◎イベント情報◎

- ▼ 8 【女性】 6/14(火) 「F-SUSよこはま」開設5周年記念イベント 講演&交流会
- ▼ 9 【起業】 6/24(火) 起業チャレンジセミナー
- ▼ 10 【IT】 7/5(火) 100%生かし切る! 中小企業の実践インターネット活用2016
- ▼ 11 【経営】 ~夜間「相談窓口」次回は7月5日と28日に開催! ~
- ▼ 12 【広報】 7/7(木) 狙いどおりに掲載される! 「マスコミが取りあげたくなるプレスリリースの書き方」セミナー
- ▼ 13 【経理】 8/2(火)8/4(木) 創業に必要な実践経理術
~経理のポイントを押さえて楽々経理~

◎広報協力◎

- ▼ 14 【広報協力】 6/3(金)~ 中小企業女性活躍推進助成金の受付が始まりました!
- ▼ 15 【広報協力】 6/16(木)「ヨコハマ・イノベーションスクラム・プログラム」キックオフイベント (~マザーハウス山崎氏、a-con加形氏登壇~)
- ▼ 16 【広報協力】 6/28(火) 健康長寿ビジネス創出セミナー
- ▼ 17 【広報協力】 7/13(水)「女性活躍推進セミナー 働き方を変える3点セット」 (~女性活躍・イクメン・イクボス型マネジメント~)
- ▼ 18 【広報協力】 7/19(火)中小企業のための事業承継セミナー

◆◆

- ▼ 1 【NEW!】 ~6/30(木) ~女性経営者のための~
メンタープログラム【上級編】参加者募集!

会社経営において悩みは尽きないものですが、「先人の教え」から学ぶことは多々あり、その教えから危機を回避できたり、大きく成長を果たすことが可能となります。

本メンタープログラムでは、皆様の業種や経営課題にマッチしたメンターを選定

して、経営課題や問題の解決、さらなる成長に向けて、さまざまなアドバイスをおこないます。

- 募集対象 創業3年以上の法人代表者、または成長志向があり年商1千万円程度
の個人事業主で、先輩女性経営者からのアドバイスを希望する女性
- 募集期間 平成28年6月3日(金)～6月30日(木)
- 開催場所 (公財)横浜企業経営支援財団 (横浜市中区太田町2-23)
- 定員: 3名 *7月7日(木)に個人面談を行い参加者を決定します。
- 参加費: 10,000円/全5回 (事前振込となります)
- メンターの決定: 参加希望者と個人面談を行い、事業内容や経営課題をヒア
リングした上で個々にあったメンターを選定します。
- お申込み・詳細はこちら(ユーザー登録、ログインの上お申し込み)
<http://www.idec.or.jp/seminar/detail.php?pid=826>
- お問合せ先
(公財)横浜企業経営支援財団 経営支援部経営支援課 TEL: 045-225-3707

▼2【会計】7/12(火)、7/14(木)今ならまだ大丈夫!!
8割の経営者が誤解している決算書の見方、活かし方

決算書の読み方を理解すると、会社の状態が安全なのか、売上と経費のバランス
はいいのか、人と設備の生産性に問題はないかを、数字でつかめるようになります。

今さら聞けない基本的な部分から、多くの方が誤解しているポイントまで、決算書
の読み方を全2回のセミナーで学びます。

- 日時 平成28年7月12日(火)、7月14日(木) 18:30～20:30
- 会場 横浜メディア・ビジネスセンター7階大会議室 (横浜市中区太田町2-23)
- 参加費 4,200円/1名、2回分(7月1日2当日会場にて申し受けます。)
- 対象 横浜市内中小企業経営者、会計担当者 等
- お申込み・詳細はこちら(ユーザー登録、ログインの上お申し込み)
<http://www.idec.or.jp/seminar/detail.php?pid=808>
- お問合せ先
(公財)横浜企業経営支援財団 経営支援部経営支援課 TEL: 045-225-3714

▼3【経営】6/21(火)売れる!中小企業のマーケティングセミナー

経営資源の限られている中小企業の営業はいかに効率的・効果的に営業をおこ
なっていくか?ここが勝負どころになります。本セミナーでは、営業で戦略的に
考え、実効性のある戦術に落とし込み、さらに現場での営業対応の展開を考えて
いきます。机上の空論ではなく、明日から使える営業でのヒント満載のセミナー
です。

- 日時 平成28年6月21日(火) 15:00～17:00
- 会場 横浜メディア・ビジネスセンター7階大会議室 (横浜市中区太田町2-23)
- 参加費 2,100円/1名 ※当日会場にて申し受けます。
- 対象 横浜市内中小企業経営者等
- お申込み・詳細はこちら(ユーザー登録、ログインの上お申し込み)
<http://www.idec.or.jp/seminar/detail.php?pid=806>
- お問合せ先
(公財)横浜企業経営支援財団 経営支援部経営支援課 TEL: 045-225-3714

▼4【NEW!】～6/24(金)ET/IoT 2016「横浜パビリオン」出展企業を募集します!

組込み技術の「ET展」とIoT技術にフォーカスした「IoT展」で構成。両分野
の最先端テクノロジーとソリューションが集結するイベントです(会期:
11月16日～18日)。メディアの注目度はもちろん、目的意識の高い技術者や
マネジメント層などが毎年多数来場しています。ET/IoT展で貴社の製品・技術を
PRしてみませんか。

- 横浜パビリオン募集概要
 - (1) 対象企業 横浜市内に本社または事業所を有する「組込み/IoT技術」関連企業等
15社程度
 - (2) 出展費用・通常ブース : 180,000円/ブース
・初出展支援ブース(※) : 90,000円/ブース
 - (3) 申込締切 平成28年6月24日(金) 17:00
※ただし所定のブース数が埋まり次第、募集を終了します。
 - (4) 詳細・お申込み
<http://www.idec.or.jp/renkei/kumikomi.php>
- お問合せ先
(公財)横浜企業経営支援財団 経営支援部技術支援課 TEL: 045-225-3733

▼ 5 【NEW!】 ～6/30(木) ～創業まもない女性起業家のための～
メンタープログラム【中級編】参加者募集!

事業を進めるうえで、誰かの意見を聞きたいことはありませんか? 起業して間もない女性、または事業承継で新たに経営者となられた女性に、IDEC女性起業家支援チームを中心とする中小企業診断士がメンターとなり、あなたが抱えている課題の解決に向けて、さまざまなアドバイスをおこないます。

少人数グループミーティングでのメンターや女性起業家との意見交換を通して、さらに事業を前に進めましょう!

●募集対象 横浜市内で事業を行う創業1～3年程度の女性起業家で、事業における課題を解決したい方

●事業課題 (1) 販路開拓 (2) 商品・サービスブランディング

●開催日時 第1回 平成28年7月15日(金) 10:00～12:00
第2回～第4回はチーム毎に日程調整の上、ミーティングを行います。
(1～2ヶ月に1回、各回2時間程度)

●開催場所 (公財)横浜企業経営支援財団 (横浜市中区太田町2-23)

●定員: 4名 *応募多数の場合は抽選いたします。
また、第1回7月15日(金)に参加できる方を優先します。

●申込期限: 平成28年6月30日(木) 17:00

●参加費: 6,000円/全4回 別途交流会も開催します。
※第1回当日、受付にてお支払ください。
※一旦納入いただいた参加費は、原則、返金はいたしませんのでご了承ください。

■お申込み・詳細はこちら(ユーザー登録、ログインの上お申し込み)
<http://www.idec.or.jp/seminar/detail.php?pid=825>

■お問合せ先
(公財)横浜企業経営支援財団 経営支援部 経営支援課 TEL: 045-225-3707

▼ 6 【NEW!】 7/21(木) 日本公庫・創業セミナー ～飲食店成功への道～

日本政策金融公庫(日本公庫)は、一般の金融機関が行う金融を補完する政策金融機関です。今回のセミナーは、飲食店を始めようとお考えの方へ、創業計画のポイントや、日本公庫の創業者向け融資制度について説明します。

また、セミナーの前には1回30分の日本公庫担当者との個別相談会を実施します(要予約)。融資をご検討されている方は是非ご参加ください。

●日時 平成28年7月21日(木) 15:00～16:00
●会場 横浜メディア・ビジネスセンター7階大会議室(横浜市中区太田町2-23)

●参加費 無料
●対象 横浜市民または横浜市内で創業予定の方

■お申込み・詳細はこちら(ユーザー登録、ログインの上お申し込み)
<http://www.idec.or.jp/seminar/detail.php?pid=794>

■お問合せ先
(公財)横浜企業経営支援財団 経営支援部 経営支援課 TEL: 045-225-3714

▼ 7 【NEW!】 7/28(木) ケーススタディで学ぶ! 事業計画作成のポイント

創業する際には、事業をさまざまな角度から徹底的に分析し、事業計画書に落とし込む必要があります。本セミナーでは、横浜市制度融資において金融機関に提出する創業計画書を使用し、ケーススタディを用いてワークを行います。

●日時 平成28年7月28日(木) 18:00～20:00
●会場 横浜メディア・ビジネスセンター7階大会議室(横浜市中区太田町2-23)

●内容 ・事業計画を作成する前にどんな準備が必要?
・事業計画に書くべき重要なポイントは?
・どれくらい詳しく書けばいいの?
・資金はいくらくらい必要?

●参加費 500円(当日受付にてお支払い下さい。)
●対象 横浜市民もしくは市内で創業予定の方及び創業して間もない方

■お申込み・詳細はこちら(ユーザー登録、ログインの上お申し込み)
<http://www.idec.or.jp/seminar/detail.php?pid=822>

■お問合せ先
(公財)横浜企業経営支援財団 経営支援部 経営支援課 TEL: 045-225-3714

▼ 8 【女性】 8/14(火) 「F-SUSよこはま」開設5周年記念イベント 講演&交流会

女性のためのスタートアップオフィス「F-SUSよこはま」開設5周年記念イベントを開催します。今回は横浜で起業し全国展開している女性起業家による講演と、F-SUS会員による事業紹介の他、交流会を開催します。

●日時 平成28年6月14日(火) 13:30～16:30 ●参加費 1000円
 ■お申込み・詳細はこちら
<http://www.idec.or.jp/seminar/detail.php?oid=816>

▼9【起業】6/24(火) 起業チャレンジセミナー

本セミナーは創業を志す方を対象に、経営者としての心構えや、創業前にどんなことを知り、調べ、考えておく必要があるのかについて、豊富な創業支援の経験をもつ中小企業診断士(IDEC経営相談員)が解説します。

●日時 平成28年6月24日(金) 14:00～16:00 ●参加費 500円
 ■お申込み・詳細はこちら
<http://www.idec.or.jp/seminar/detail.php?pid=795>

▼10【IT】7/5(火) 100%生かし切る! 中小企業の実践インターネット活用2016

ジンドウ一等のCMSでホームページを作り、外部ブログもfacebookページも作ったけれども、今ひとつの効果が実感できない中小企業経営者は多いものです。まずはライバルがいらない成長市場を見極めて、積極的にWebマーケティングを展開してきましょう。

●日時 平成28年7月5日(火) 18:30～20:30 ●参加費 2,100円/1名
 ■お申込み・詳細はこちら
<http://www.idec.or.jp/?k=cRoF>

▼11【経営】～夜間「相談窓口」次回は7月5日と28日に開催!～

7月5日、7月28日に夜間「経営相談」日を開催します。平日・日中は、なかなか都合がつかない中小企業の経営者の方や、昼間お勤めをしている創業予定者の方は仕事帰りにご利用ください。ご相談は、無料です。(要事前予約)。

●日時 平成28年7月5日(火)、7月28日(木) (1)18:00～19:00 (2)19:00～20:00
 ●その他 「事前予約制」としているため、相談日前日までに電話にて、予約のうえお越しください。Tel: 045-225-3714

▼12【広報】7/7(木) 狙いどおりに掲載される! 「マスコミが取りあげたくなるプレスリリースの書き方」セミナー

小さな企業でも工夫しだいで大きな反響が期待できるプレスリリース。しかし独特の作法があり、自己流ではなかなかうまくいきません。このセミナーでは、書き方・送り方の基本、さらに狙いどおりのメディア掲載を獲得するためのコツを身につけることを目的としています。

●日時 平成28年7月7日(木) 18:30～20:30 ●参加費 2,100円/1名
 ■お申込み・詳細はこちら
<http://www.idec.or.jp/?k=psH4>

▼13【経理】8/2(火)8/4(木) 創業に必要な実践経理術
 ～経理のポイントを押さえて楽々経理～

企業経営上必須である経理の基礎を全体像でつかんでいただき、どのように実践していけばいいのかわかりやすく集中特訓していきます。

●日時 平成28年8月2日(火)、8月4日(木) 両日とも 18:30～20:30
 ●参加費 1,000円 (8月2日に受付にてお支払い下さい。)

■お申込み・詳細はこちら
<http://www.idec.or.jp/?k=DVOX>

▼14【広報協力】6/3(金)～ 中小企業女性活躍推進助成金の受付が始まりました!

市内の中小企業の皆さまが、女性の活躍を推進するための社内環境づくりに取り組む際の費用の一部を助成します。

●募集期間 平成28年6月3日(金)～予算枠に達するまで(予算額550万円)
 ●助成対象者 市内に本社を置き常時雇用する従業員が2名以上の中小企業

■お申込み・詳細・お問合せ先はこちら
<http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/shien/womanport/fund.html>

▼15【広報協力】6/16(木)「ヨコハマ・イノベーションスクラム・プログラム」キックオフイベント(～マザーハウス山崎氏、a-con加形氏登壇～)

ソーシャルビジネスを担う事業者が課題解決を図り、ステージアップを目指すための講座「ヨコハマ・イノベーションスクラム・プログラム」の募集を開始。8月の開講に先駆け、説明会を兼ねたキックオフイベントを開催します。

●日 時 平成28年6月16日(木) 19:00~21:30
 ■お申込み・詳細・お問合せ先はこちら
http://massmass.jp/project/innovation_scrum_program_kick_off/

▼16【広報協力】6/28(火)健康長寿ビジネス創出セミナー

横浜市経済局では、働く世代の健康づくりに取り組む「健康経営」に役立つ新たなサービスの創出を目指し、国の取組や、健康経営に関する食や運動分野のサービス事例紹介などを通じて、「健康経営」に資する新たなサービス創出のきっかけとしていただくため、「健康長寿ビジネス創出セミナー」を開催します。

●日 時 平成28年6月28日(火) 13:30~16:30 ●参加費 無料
 ■お申込み・詳細はこちら
<http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/kenko-iryu/kenkou.html>

▼17【広報協力】7/13(水)「女性活躍推進セミナー 働き方を変える3点セット」
 (～女性活躍・イクメン・イクボス型マネジメント～)

平成28年4月に女性活躍推進法が施行され、今まさに企業の成長のために女性の活躍をどう進めるかが問われています。そこで、女性の活躍によって業績が向上した中小企業の事例を紹介するセミナーを開催します。

●日 時 平成28年7月13日(火) 13:30～16:30
 ■お申込み・詳細・お問合せ先はこちら 専用ポータルサイト「ウーマンポート横浜」
<http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/shien/womanport/seminar.html>

▼18【広報協力】7/19(火)中小企業のための事業承継セミナー

経営者の高齢化などに伴い、事業を後継者に引き継ぐ時期が近いものの、事業承継の進め方が解らない、後継者の資質等に不安があるなどの課題や悩みを抱える中小企業・小規模企業の経営者、後継者の方を対象に、事業承継セミナーを開催いたします。

●日 時 平成28年7月19日(火) 13:30～16:00
 ■お申込み・詳細・お問合せ先はこちら
http://www.kipc.or.jp/seminar_event/23536/

■創業・経営に関する相談はまずこちらにどうぞ。 関内本部・金沢拠点
<http://www.idec.or.jp/keiei/madoguchi.php>

■セミナー・イベントカレンダー
<http://www.idec.or.jp/seminar/calendar.php>

■市内で社会的事業に取り組む企業を応援「横浜型地域貢献企業支援事業」
<http://www.idec.or.jp/keiei/csr/>

■女性の起業支援
 →横浜企業経営支援財団 女性起業家支援チーム
<http://www.idec.or.jp/kigyowoman/>
 →女性起業UPルーム
<http://www.uproom.info/>

■横浜市中小企業金融制度の概要 ～横浜市経済局金融課金融係
<http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/shien/yushi/shurui.html>

■海外ビジネスのご相談窓口 国際ビジネス支援部 はこちら
<http://www.idec.or.jp/kaigai/>

■技術課題の解決・大学等との産学共同研究などは 技術支援課
<http://www.idec.or.jp/gijutsu/>

■新製品・新分野進出を図るため、研究室・実験室をお探しの方
 →横浜金沢ハイテクセンター・テクノコア
<http://www.idec.or.jp/shisetsu/kanazawah/>
 →横浜市産学共同研究センター
<http://idec.or.jp/shisetsu/irc/>
 →横浜新技術創造館 リーディングベンチャープラザ
<http://idec.or.jp/shisetsu/lvp/>

■関内・日本大通りで会議室やホールをお探しの方 横浜情報文化センター
<http://www.idec.or.jp/shisetsu/jouhou/>

■金沢区で会議室やホール、スポーツ施設をお探しの方 金沢産業振興センター
<http://www.idec.or.jp/shisetsu/kanazawasc/>

発行：公益財団法人 横浜企業経営支援財団(横浜市中小企業支援センター)
 〒231-0011 横浜市中区太田町2-23 横浜メディア・ビジネスセンター7階
 TEL:045-225-3714 FAX:045-225-3738 <http://www.idec.or.jp/kigyow/>

Facebook:<http://www.fb.com/idecyokohama>

●横浜企業経営サポートマガジンの登録はこちら

<https://www.idec.or.jp/mmagazine/>

●メールマガジンの解除はこちら (ユーザー登録している方向け)

<https://www.idec.or.jp/login/>

●本メールマガジンでご提供した情報は読者個人の責任においてご利用ください。

Copyright(C)2016 All rights reserved 無断転載を禁じます。

横浜市経済局 URL → <http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/>

※配信停止や配信先変更等のご連絡 → ke-magazine@city.yokohama.jp

<セミナー・イベント情報>

[1] 「健康長寿ビジネス創出セミナー」開催【6/28】

[2] 100%生かし切る！中小企業の実践インターネット活用 2016【7/5】

[3] 狙いどおりに掲載される！「マスコミが取りあげたくなるプレスリリースの書き方」
セミナー【7/7】

[4] 未来に勝ち残る企業になる！横浜市 人材活用イノベーションセミナー【7/8】

[5] 今ならまだ大丈夫！！8割の経営者が誤解している決算書の見方、活かし方
【7/12,7/14】

<セミナー・イベント情報>

[1] 「健康長寿ビジネス創出セミナー」開催【6/28】

横浜市経済局では、働く世代の健康づくりに取り組む「健康経営」に役立つ新たなサービスの創出を目指しています。今回、国の取組や、健康経営に関する食や運動分野のサービス事例紹介などを通じて、「健康経営」に資する新たなサービス創出のきっかけとしていただくため、「健康長寿ビジネス創出セミナー」を開催します。

◆日時：平成28年6月28日（火） 13：30～16：30

◆会場：情文ホール（会場 URL：<http://www.idec.or.jp/shisetsu/jouhou/access.php>）

◆対象：横浜市内外の企業のご担当者様

◆費用：無料

◆定員：100人

◆締切：6月24日

◆運営：株式会社日本能率協会コンサルティング

◎詳細・お申込みはこちら

→<http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/kenko-iryo/kenkou.html>

◎お問合せ先

株式会社日本能率協会コンサルティング

電話：03-5219-8054 Fax：03-5219-8068 E-mail：event_consult@jmac.co.jp

[2] 100%生かし切る！中小企業の実践インターネット活用 2016【7/5】

ジンドゥー等の CMS でホームページを作り、外部ブログも facebook ページも作ったけれども、今ひとつの効果が実感できない中小企業経営者は多いものです。まずはライバルがいない成長市場を見極めて、積極的に Web マーケティングを展開してきましょう。

最新ウェブツールを使い切り、成果を実感できる内容を楽しく分かりやすく説明するセミナーです。

- ◆日時：平成 28 年 7 月 5 日(火) 18:30~20:30
- ◆会場：横浜メディア・ビジネスセンター7 階大会議室
(<http://www.idec.or.jp/shisetsu/mbc/access.php>)
- ◆対象：横浜市内中小企業経営者等
- ◆費用：2,100 円/1 名 ※当日会場にて申し受けます。
- ◆定員：30 人
- ◆締切：7 月 4 日

◎詳細・お申込みはこちら

→<http://www.idec.or.jp/seminar/detail.php?pid=813>

◎お問合せ先

(公財) 横浜企業経営支援財団 経営支援部経営支援課

電話：045-225-3714 FAX：045-225-3738 E-mail：keiei@idec.or.jp

[3] 狙いどおりに掲載される！

「マスコミが取りあげたくなるプレスリリースの書き方」セミナー【7/7】

小さな企業でも工夫しだいで大きな反響が期待できるプレスリリース。しかし独特の作法があり、自己流ではなかなかうまくいきません。このセミナーでは、書き方・送り方の基本、さらに狙いどおりのメディア掲載を獲得するためのコツを身につけることを目的にしています。

- ◆日時：平成 28 年 7 月 7 日(木) 18:30~20:30
- ◆会場：横浜メディア・ビジネスセンター7 階大会議室
(<http://www.idec.or.jp/shisetsu/mbc/access.php>)
- ◆対象：横浜市内中小企業経営者等
- ◆費用：2,100 円/1 名 ※当日会場にて申し受けます。
- ◆定員：30 人
- ◆締切：7 月 6 日

◎詳細・お申込みはこちら→<http://www.idec.or.jp/seminar/detail.php?pid=814>

◎お問合せ先

(公財) 横浜企業経営支援財団 経営支援部経営支援課

電話：045-225-3714 FAX：045-225-3738 E-mail：keiei@idec.or.jp

[4] 未来に勝ち残る企業になる！横浜市 人材活用イノベーションセミナー【7/8】

新たな人材の確保が難しい局面を迎えている中、ICT を活用し、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方を実現する『テレワーク』が注目されています。企業において多様な働き方が可能になることにより、

新たな人材の確保や活躍の場の創出に向けた可能性が出てきます。

本セミナーでは、横浜の未来、第4次産業革命（インダストリー 4.0）、人材不足の解消など最新の動向とともに、在宅勤務を可能とするテレワークを通じた「働き方変革」のための情報を発信します！

◆日時：平成28年7月8日（金） 14：00～（開場 13：30）

①人材活用イノベーションセミナー（14：00～15：30）

②テレワーク導入個別相談会（15：40～16：40） ※セミナー申込みの上、要予約

◆会場：横浜情報文化センター 6階 情文ホール

横浜市中区日本大通 11

◆対象：横浜市内中小企業及び横浜市内に事業所のある企業等

◆費用：無料

◆定員：50社

◎詳細・お申込みはこちら（事前予約制・下記 URL かチラシ裏面にある申込書を FAX にて）→<https://www.pasonatech.co.jp/lp/ytele/top.jsp>

◎お問合せ先

横浜テレワーク推進事業事務局

電話：0120-847195 E-mail：yokohama@pasonatech.co.jp

[5] 今ならまだ大丈夫！！8割の経営者が誤解している決算書の見方、活かし方【7/12,7/14】

決算書の読み方を理解すると、会社の状態が安全なのか、売上と経費のバランスはいいのか、人と設備の生産性に問題はないかを、数字でつかめるようになります。

今さら聞けない基本的な部分から、多くの方が誤解しているポイントまで、決算書の読み方を全2回のセミナーで学びます。

◆日時：平成28年7月12日(火)、7月14日(木) 18:30～20:30

◆会場：横浜メディア・ビジネスセンター7階大会議室

(<http://www.idec.or.jp/shisetsu/mbc/access.php>)

◆対象：横浜市内中小企業経営者等

◆費用：4,200円/1名、2回分（7/12当日会場にて申し受けます。）

◆定員：30人

◆締切：7月11日

◎詳細・お申込みはこちら→<http://www.idec.or.jp/seminar/detail.php?pid=808>

◎お問合せ先

(公財) 横浜企業経営支援財団 経営支援部経営支援課

電話：045-225-3714 FAX：045-225-3738 E-mail：keiei@idec.or.jp

★企業支援@ヨコハマ -横浜市経済局メールマガジン-

発信元：横浜市経済局 経営・創業支援課

連絡先：電話：045-671-2748 FAX：045-664-4867

E-mail：ke-keiei@city.yokohama.jp

※メルマガ・バックナンバー

→ <http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/shien/mailmagazine/>

※配信停止や配信先変更等のご連絡

→ ke-magazine@city.yokohama.jp
